

ぐんまの安心 がんサポートブック

～サポートブックはサポートします～

第14版



このサポートブックを入手するには

「がん診療連携拠点病院」・「群馬県がん診療連携推進病院」
のがん相談支援センター及び各市町村担当課にて、
希望者にお配りしています。

WEB版

はこちら



@takeshi0411

署 名 **ぐんまの安心がんサポートブック**
～サポートブックはサポートします～(第14版)

発行年月 令和7年3月

発 行 群馬県

編 集 群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1
電話 027-226-2614 (直通)
FAX 027-243-2044

協 力 群馬県医師会
群馬県薬剤師会
群馬県がん患者団体連絡協議会
群馬県がん対策推進協議会
群馬県がん診療連携協議会
群馬県がんピアサポーター有志

写 真 群馬県の魅力を発信するSNS投稿事業「ぐんま応援びと」
(<https://www.pref.gunma.jp/page/16064.html>)

～サポートブックはサポートします～

大切なあなたの心が 少しでも和らぐことを願って

このサポートブックは、がんと診断された方、がんを治療中の方、がんの再発に不安を感じている方や、家族のがんを心配されている方に役立つ情報を、わかりやすくまとめています。（特に記載がない場合は、令和7年3月現在の情報）

様々な立場の方々により、どのようにがん患者さんをサポートするのが書かれています。

県民の皆さんにも、是非、このサポートブックを読んで、がんのことを考えていただき、地域や職場も一体となって「支え合う社会」をつくりましょう。

群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課

前橋市

@chao.2416

目次

フローチャート

がんの 疑い

第1章 がんが心配なとき～あなたを支えるかかりつけ医・かかりつけ薬剤師～

- ・あなたを支える「かかりつけ医」 1ページ
- ・薬局は、薬や健康のことを相談できるパートナーです 4ページ
- ・がんピアサポーターからのメッセージ①がんが与えてくれたもの「出会いと感謝」 5ページ

がんの 診療

第2章 がんの診断～がん診療を行う病院と相談支援センター～

- 1がんと診断されたら
 - ・知っておきたい 医師のアドバイス「上手な医療機関のかかり方」 7ページ
- 2がんの診断のための検査
 - ・画像診断、細胞や組織の検査、血液検査 9ページ
- 3がんの診療を行う病院と相談支援センター
 - ・がん診療連携拠点病院、群馬県がん診療連携推進病院概要、小児がん連携病院、がんゲノム医療連携病院概要、一覧、地図 10ページ
 - ・相談支援センター、セカンドオピニオン、がんサロン 13ページ
 - ・がん診療連携拠点病院等の相談支援センター、セカンドオピニオン、がんサロン等紹介 14ページ
 - ・アピアランスケアに関するリーフレット 32ページ
 - ・よくある問い合わせ～がん相談支援センター相談員より～ 33ページ
- 4がんの治療と仕事の両立を支援します
 - ・さんぽセンターでの治療と仕事の両立支援について 35ページ
 - ・ハローワークでの治療と仕事の両立支援について 36ページ
 - ・がん相談支援センターでの治療と仕事の両立支援について 37ページ
- 5がん治療と妊娠について
 - ・AYA世代のがん治療と子どもを持つこと 38ページ
 - ・妊よう性温存療法について 39ページ

治療の 準備

治療の 開始

第3章 がんの治療～がんの治療方法、セカンドオピニオン、自宅での療養～

- 6がんの治療
 - ・治療法を考える 41ページ
 - ・免疫療法 47ページ
 - ・がんゲノム医療 49ページ
 - ・がんの再発・転移 50ページ
 - ・がんの補完代替療法について 51ページ
 - ・がん治療と歯科治療について 52ページ
 - ・希少がんの相談窓口について 53ページ
 - ・セカンドオピニオン～治療方針に悩んだら～ 54ページ



7「緩和ケア」～がんと診断された時から～

- ・「緩和ケア」を知っていますか？ 55ページ
- ・緩和ケアチーム・緩和ケア病棟 55ページ
- ・緩和ケア病棟の紹介 56ページ

8自宅で過ごす

- ・家でよりよい日々を送りたい 59ページ
- ・がんピアサポーターからのメッセージ②「治療法について」 61ページ

支え 合い

第4章 退院後の生活～病院と地元医療機関の連携・サポート制度～

9病院と地元の医療機関が連携しています

- ・地域連携クリティカルパスについて 63ページ
- ・がん患者さんの在宅療養を支える病院・診療所一覧 64ページ

10療養生活を送る上での困りごと

- ・お金のサポート制度 68ページ
- ・生活のサポート制度 70ページ
- ・地域包括支援センター 72ページ
- ・若年がん患者在宅療養支援事業 73ページ

第5章 支え合える仲間～患者団体とがんサロン～

11支え合える仲間

- ・がん患者団体～仲間におおう～ 群馬県がん患者団体連絡協議会 75ページ
- ・がん患者団体、主催するサロンの紹介 76ページ
- ・がんピアサポーターからのメッセージ③心が軽く～サロンでの仲間との出会い～ 88ページ
- ・参考「情報を探す」HP・冊子のご紹介 89ページ

第6章 小児・AYA世代のがん

12小児およびAYA世代のがん 91ページ

13小児・AYA世代向けがんサロンの紹介 95ページ

14群馬県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法等助成事業のご案内 96ページ

◆群馬県のがん対策に協力する企業等 98ページ

リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまにご参加ください

リレー・フォー・ライフは、がんと闘う方々の勇気をたたえ、がん患者や家族、友人、支援者と共に地域一丸となってがんと闘う連帯感を育み、がんで悩むことのない社会を実現するために、夜通し交代で歩きながら行うチャリティーイベントです。

1985年、アメリカ・ワシントン州のタコマで、一人の医師が陸上競技場のトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募ったことが、このリレー・フォー・ライフのはじまりです。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し、がん患者を支援するためでした。現在、世界34か国2,460か所で開催、日本全国でも約50か所で開催されています。

群馬県では、2013年に初めて開催されて以来、多くの企業や関係団体からご支援をいただき、参加者数・募金額ともに全国最大級の規模に成長しています。

12年目となった今年は、がんを正しく学び、また、医師とサバイバーの交流の機会として、ドクター講座をサバイバーズテントにおいて開催しました。

秋晴れの下、歩き始めた参加者のリレーは、翌朝、空がドーンパープルに明け始める頃になっても、途切れることがありませんでした。

来年の再会を約束し合って、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんまは無事に終了となりました。

このイベントはどなたでも参加できます。ご都合に合わせて、短い時間でも構いません。

がんに負けない群馬をつくるため、多くの皆様のご参加をお待ちしています！



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま



リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま

実行委員長 大島 主好

(事務局 群馬県健康づくり財団 企画広報課)

第1章 がんが心配なとき

～あなたを支えるかかりつけ医・かかりつけ薬剤師～



片品村

@ptarmigan_diary

あなたを支える「かかりつけ医」

群馬県医師会副会長 川島 崇

日常的な診療や健康管理等を行ってくれる身近なお医者さんのことを「かかりつけ医（ホームドクターとも言います）」と呼んでいます。大きい病院では待ち時間が長くなる場合もありますので、かかりつけ医を決めておくと、ちょっとした風邪等の病気の際に大変便利です。

「健康だからかかりつけ医なんて要らない」とおっしゃる方でも、急な病気はもちろん、健康診断の数値が気になった時、食事や生活の注意点や些細なことも気軽に相談できる「かかりつけ医」を持つことをお勧めします。



●かかりつけ医は、どんな医師が良いのでしょうか？

かかりつけ医を選ぶポイントは以下の4つです。

- (1) 受診しやすく、すぐ診てもらえるところ。
- (2) 患者の話をしっかり聞いてくれて、気軽に相談しやすいところ。
- (3) 病気、治療、薬などについてわかりやすく説明してくれるところ。
- (4) 必要に応じて、適切な専門医を指示、紹介してくれるところ。

ですので、かかりつけ医は病院の専門医でなく、あなたのことをよく知っている身近な医療機関の医師が良いでしょう。身近な医療機関の医師も、「がん」に限らずいろいろな医療機関の専門医と連携が取れています。

●この症状は「がん」かしら？気になったら、すぐに相談を！

早期のがんは、はっきりした症状がないことが多いものです。原因不明の体調不良、食欲低下、体重減少、咳が長引く、胃の不快感、便に血が混じる、乳房のしこり等の症状が気になった時や、なんとなく心配な時には、すぐにかかりつけ医にご相談ください。

●受診目的をはっきり伝えることが重要です

受診するときには、「がんが心配です。」と伝えていただくとスムーズに検査が受けられます。多くの場合、そうした症状は、かかりつけ医での検査や治療で改善すると思いますが、治療を受けても改善しない場合や検査を受けても心配な場合には、目的に合わせた病院を紹介してもらってください。病院での検査を希望される場合も、かかりつけ医から紹介していただくと、予約ができます。病院を紹介してくださいと言うと嫌がられると思っている方もいるようですが、そんなことはありません。紹介状を持っていくことで、連携がスムーズになり、より良い医療が提供されます。

●大きな病院に行く前にもかかりつけ医に相談を

精密検査や専門的な治療が必要になったとき、病院に行くことになります。しかし、病院に出かけたはいいが、自分は何科を受診していいのか迷うこともあるでしょう。自分の判断で診療科を選択してしまうと、長時間待たされたあげくに他の科にまわされるということにもなりかねません。事前にかかりつけ医に相談していれば、そのようなことが避けられます。症状にあった適切な診療科を紹介してもらいましょう。紹介状があればより安心です。

●紹介状のメリット！

- ・大病院では待ち時間が長いことが多いのですが、診療予約をできる病院が増えていますので、紹介状があれば待ち時間が短くなります。
- ・紹介状があると、重複した検査が避けられ、担当医師が状態を早く理解でき、余裕を持った診療が受けられます。

(注) 一定規模以上の大病院を紹介状なしで受診する場合は、緊急その他やむを得ない事情がある場合を除いて、初診料等とは別に追加負担が発生します。

かかりつけ医にかかるメリット！

- 1 待ち時間が比較的短く、受診の手続きも簡単で、じっくり診察してくれる。
- 2 入院や検査などが必要な場合、適切な病院・診療科を指示、紹介してもらえる。
- 3 家族の病状・病歴、健康状態を把握しているので、もしもの時に素早い対応をしてくれる。
- 4 食事面等、日常の健康管理のアドバイスをしてもらえる。
- 5 病院での治療が終了した後も、専門医とかかりつけ医の連携による治療が受けられる。

定期的な検診や風邪などの日常的な病気のときには近所のかかりつけ医へ。高度な治療や精密検査が必要なときには、適切な病院を紹介してもらい、受診しましょう。信頼できるかかりつけ医は、あなたの健康と安心をサポートします。

参考情報

● 群馬県がん対策推進動画「がんと共に生きる」を公開しています

木山裕策さんの語りによる、がん経験（甲状腺がん）を通じた、メッセージ

- がんに罹っても1人で悩むことなく、周囲の相談機関を利用したり、身近な友人や家族、同僚と支え合い自分らしく生きることの大切さ
- がんの早期発見やがん検診受診の大切さ



出演 木山 裕策（歌手）

群馬県 がんと共に生きる

🔍 検索

薬局は、薬や健康のことを相談できるパートナーです

群馬県薬剤師会副会長 原文子

薬局はお薬の調剤のみならず

- ◇市販薬や健康に関する相談
- ◇食品・介護関連商品の相談 なども行っています。

- 介護の不安や心配事もお話を伺い、解決策を提案します。
- いつでも気軽に相談できる、かかりつけ薬局・薬剤師を持ってください。



かかりつけ薬局・薬剤師のメリット

●一元的に

薬を安全・安心に使用していただくため、処方薬や市販薬など、あなたが使用している薬の情報を一か所でまとめて把握し、薬の重複や飲み合わせのほか、薬が効いているか、副作用がないかなどを継続的に確認します。また複数のお薬手帳をお持ちの方には、1冊に集約していただくよう、提案いたします。



●いつでもどこでも

休日や夜間など薬局の開局時間外も、電話で薬の使い方や副作用等、お薬に関する相談に応じています。また、必要に応じて夜間や休日、処方せんに基づいてお薬をお渡しします。外出が難しい高齢者などの患者さんのお家へ伺い、お薬のご説明をしたり、残薬（手元に残っている薬）の確認も行います。



●関係もおまかせください

処方内容を確認し、必要に応じて医師への問い合わせや提案を行います。患者さんに薬を渡した後も患者さんの状態を見守り、その様子を処方医にフィードバックしたり、残薬の確認を行います。お薬だけでなく、広く健康に関する相談にも応じ、場合によっては医療機関への受診もお勧めすることもあります。また、地域の医療機関とも連携し、チームで患者さんを支えられる関係を日ごろからつくっています。



かかりつけ薬局・薬剤師は
なんでも相談できる一番身近な医療機関

がんになった不安や、薬物治療に対しての
心配事など患者さんご本人やご家族の皆様の
ニーズに沿ったご相談に応じています



ご相談お待ちしております。

がんピアサポーターからのメッセージ① がんが与えてくれたもの「出会いと感謝」

群馬県がんピアサポーター 安井

「がん」は、それまでの大切な人生や健康そして命さえ奪う時もあります。かつて母や身近な人をがんで亡くした私にとって、がんは大切な人を苦しめ「奪う物」でした。しかし、私自身がんになった時に、主治医に対して思わず口にしたのは、「まだ未成年の子どもがいます。厳しくても良いので最良の治療をしてください。」という言葉でした。主治医の「分かりました」という言葉どおり、初発のがん患者にしては、かなり厳しい抗がん剤治療を受けることになりました。治療が始まり、痺れ・痛み、粘膜障害、不眠と様々な副作用に悩まされました。しかし、主治医が言ってくれた「何かあったら、いつでも来ていいよ」この言葉が、私を支えてくれました。患者は辛くても次の治療日まで病院に行くことを躊躇するからです。この言葉は主治医に対する信頼を生み、私の残りの人生を変えるほどでした。ふと立ち寄った院内サロンで、多くのがん患者の涙に出会いました。その時、主治医のように、がん患者を支える方法はないか…と考えたのが、私のピアサポーター人生の始まりです。その後、仲間と地域がんサロンを開くことになりました。サロンでの多くのがん患者やご家族との出会いは素晴らしいものであり、寄り添うことの大切さを学ぶ日々でした。

また、正しいがん情報が欲しいと思い東京まで講演会に通いました。「正しいがん情報は、がん患者の心と命を救う」と実感し、毎年、県内外のがん専門医を招いて講演会を行いました。そこで出会ったがん専門医の先生方は、がん患者の命を救う事を、いつもいつも考えている素晴らしい人々でした。

痺れや不眠などが今でも残り、元の身体ではありませんが、がんは、それ以上に主治医をはじめ医療関係者や様々な人との出会いに感謝する心、誰かのために生きる喜びを与えてくれました。

がんと告知された時、誰もが戸惑い絶望を感じると思います。しかし、必ず話を聴いてくれる人がいます。主治医や看護師・相談支援センター、ピアサポーターやサロンなど、誰かに話すと心が軽くなり道は開けてきます。「迷ったらGO!」

第2章 がんの診断

～がん診療を行う病院と相談支援センター～



みどり市
@koh_maru3

1 がんと診断されたら

知っておきたい 医師のアドバイス「上手な医療機関のかかり方」

群馬大学医学部附属病院 元腫瘍センター長 塚本 憲史

がんの診断がついた時点で、担当医から今後の治療方針について説明があります。説明内容が理解できるとその後の診療がスムーズになり、治療の満足度も上がります。医師の話を聞くときのコツをお話しします。

コツ 1

できるだけ家族と一緒に複数で聞く

1人や2人でなく、できれば3～5人以上で聞きましょう。聞いた内容をあとで互いに確認できます。特にがんと宣告されて間もない患者さんは気持ちの整理がついていません。説明内容を受け入れる余裕はなく、周囲の助けが必要です。

コツ 2

ご高齢の方はお子さんなど若い方と一緒に聞く

「子どもには迷惑をかけたくない」と言われる方がいます。しかし、子どもは病状説明や闘病の際に頼りになります。できるだけ都合をつけてもらい、一緒に話を聞いてもらいましょう。

コツ 3

説明を受けるときは予約を取る

内容を理解するには、時間をかけて説明を聞く必要があります。外来で多くの患者さんが後に控えている状況では、担当医も十分な時間が取れません。余裕をもって説明してもらえよう予約を取りましょう。

コツ
4**担当医から渡される説明文書を読み返す**

担当医から説明内容を記した紙が渡されますので、家で必ず読み返しましょう。一度は理解したつもりでも、あとでわからなくなることがあります。不明な点は遠慮なく質問しましょう。最近は、病状説明に看護師が立ちあうことが多いので、その看護師に尋ねるのも良いでしょう。

コツ
5**要望があれば遠慮しない**

セカンドオピニオン、転院の希望があれば、遠慮なく医療スタッフに伝えてください。患者さんご自身で言い出しづらければ、家族から伝えてもらうのも良いでしょう。

コツ
6**わからないことをそのままにしない**

担当医との間には医療についての情報量に差があるので、双方でそれを埋める努力が必要です。がん治療は患者、医療者との共同作業です。わからない事をそのままにしないで、担当医と良く相談し、納得のいく治療を受けてください。

《腫瘍センターとは》

群馬県内のがん医療のレベル向上や医療機関同士の連携、緩和ケア、化学療法、相談支援の充実等々を推進するため群馬大学医学部附属病院内に設置されています。がんに関する専門的・総合的な研究を推進するとともに、人材育成などがん医療に係る様々な取り組みを行っています。

2 がんの診断のための検査

●画像診断

群馬大学大学院 医学系研究科放射線診断核医学分野 教授 対馬 義人

体の中を画像化することによって様々な病気の診断を行う技術を「画像診断」または「放射線診断」といいます。がんを発見し、進行の程度を診断して治療方針を決定する際に中心的な役割を務めます。「放射線診断医」がその役割を担っていますが、裏方仕事ですのでみなさんの前に姿を表すことはあまりありません。X線写真やCTは最も細かいところまで見ることができますが、放射線に被ばくするという欠点があります。MRIや超音波は被ばくの心配はありませんが、がんの種類や場所によっては不向きな場合があります。PETは放射線を出す薬を注射してからその放射線を体外から画像化するものです。あまり細かな部分は見えませんが、がんの転移などを一度に発見するには便利な方法です。「放射線診断」には様々な手法があり、それらの長所短所を勘案しつつ目的によって適切な検査方法を選択しています。

●細胞や組織の検査

群馬大学大学院 医学系研究科病態病理学分野 教授 横尾 英明

がんの検査のうちで最も確実な方法は、がん細胞の存在を直接確認することです。それには大きく2種類の方法があります。

1つは「細胞診」という方法で、がんの塊からはがれた細胞を集めて顕微鏡で観察するものです。例えば、肺がんの細胞は痰の中にはがれ落ちることがしばしばあり、痰を集めて顕微鏡で観察するとその姿を捉えることができます。また、自然にはがれた細胞を見るだけでなく、ヘラや綿棒、注射針のような器具を使って細胞を集める場合もあります。

もう1つは「組織診」あるいは「生検」と呼ばれる方法で、がんの塊を小さく切り取って組織標本（プレパラート）を作成し、顕微鏡で観察するもので、これは数あるがんの検査方法で最も正確とされています。

血液検査（腫瘍マーカー）

群馬県立がんセンター 院長 柳田 康弘

腫瘍マーカーとは、がん細胞やがん細胞に反応した細胞によって特徴的に作られるタンパク質などの物質です。がんの種類によって作られる腫瘍マーカーが異なり、またがんが大きくなって腫瘍細胞の数が増えると産生される腫瘍マーカーも多くなります。しかし、がんがなくても、あるいは炎症や良性腫瘍でも、ある程度産生されます。腫瘍マーカー検査とは、主に血液中や尿中などの腫瘍マーカーの濃度を測定する検査のことをいいます。

この検査の目的は、がんの診断の補助や、治療後の経過、治療の効果をみることです。検診や人間ドック等で腫瘍マーカーが高値を示した場合、がんの存在が疑われます。しかし実際のがんの有無やがんがある場所は、画像検査などその他の検査結果を合わせて、医師の総合的な判断が必要です。また小さながんでは腫瘍マーカーはわずかしかな産生されないため、前立腺がんの腫瘍マーカーであるPSAを除いて、早期のがんの発見につながっていません。治療後に腫瘍マーカーが、時間経過とともに再上昇していく場合には、がんの再発を疑って画像診断を行います。転移再発がんにおける治療効果の判断は画像診断を用いて行いますが、腫瘍マーカーは治療効果を良く反映しますので、簡便な目安として用いています。

3 がんの診療を行う病院と相談支援センター

がん診療連携拠点病院 ● 群馬県がん診療連携推進病院

どこに住んでいても、がんの状態に応じて適切ながん医療が受けられるように、国指定の「がん診療連携拠点病院」、県指定の「群馬県がん診療連携推進病院」を整備しています。

また、がん診療連携拠点病院のうち、県のがん診療の質の向上等について、中心的な役割を担う「都道府県がん診療連携拠点病院（原則、各都道府県につき1施設）」に群馬大学医学部附属病院が指定されています。

これらの病院には次のような特徴があります。

①専門的ながん治療が受けられます

手術、薬物療法（抗がん剤治療）、放射線治療を効果的に組み合わせた、治療（集学的治療）を実施しています。

②無料のがん相談窓口があります

患者さんや家族はもちろん、その病院にかかっていない方でも、がんについて相談することができます。そのほかにも、セカンドオピニオン外来の設置、がんサロンの運営なども行っています。

③緩和ケアが受けられます

がんと診断された時からの緩和ケアの提供体制が整っています。

●がん診療連携拠点病院（国指定）

病 院 名	所在地	電話番号
① 群馬大学医学部附属病院	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111
② 前橋赤十字病院	前橋市朝倉町389-1	027-265-3333
③ 高崎総合医療センター	高崎市高松町36	027-322-5901
④ 渋川医療センター	渋川市白井383	0279-23-1010
⑤ 公立藤岡総合病院	藤岡市中栗須813-1	0274-22-3311
⑥ 公立富岡総合病院	富岡市富岡2073-1	0274-63-2111
⑦ 伊勢崎市民病院	伊勢崎市連取本町12-1	0270-25-5022
⑧ 桐生厚生総合病院	桐生市織姫町6-3	0277-44-7171
⑨ 群馬県立がんセンター	太田市高林西町617-1	0276-38-0771

●群馬県がん診療連携推進病院（県指定）

病 院 名	所在地	電話番号
① 群馬県済生会前橋病院	前橋市上新田町564-1	027-252-6011
② JCHO群馬中央病院	前橋市紅雲町1-7-13	027-221-8165
③ 日高病院	高崎市中尾町886	027-362-6201
④ 原町赤十字病院	吾妻郡東吾妻町原町698	0279-68-2711
⑤ 沼田病院	沼田市上原町1551-4	0278-23-2181
⑥ 利根中央病院	沼田市沼須町910-1	0278-22-4321
⑦ 太田記念病院	太田市大島町455-1	0276-55-2200
⑧ 公立館林厚生病院	館林市成島町262-1	0276-72-3140

小児がん連携病院

小児がん連携病院とは、小児がん患者やその家族が慣れ親しんだ地域で安心して適切な医療や支援が受けられるよう、全国で整備が進められている病院です。

本県では、国が指定している小児がん拠点病院（埼玉県立小児医療センター、国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センター、神奈川県立こども医療センター）の連携病院として、2病院が指定されています。

病 院 名	所在地	電話番号
① 群馬大学医学部附属病院	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111
② 群馬県立小児医療センター	渋川市北橘町下箱田779	0279-52-3551

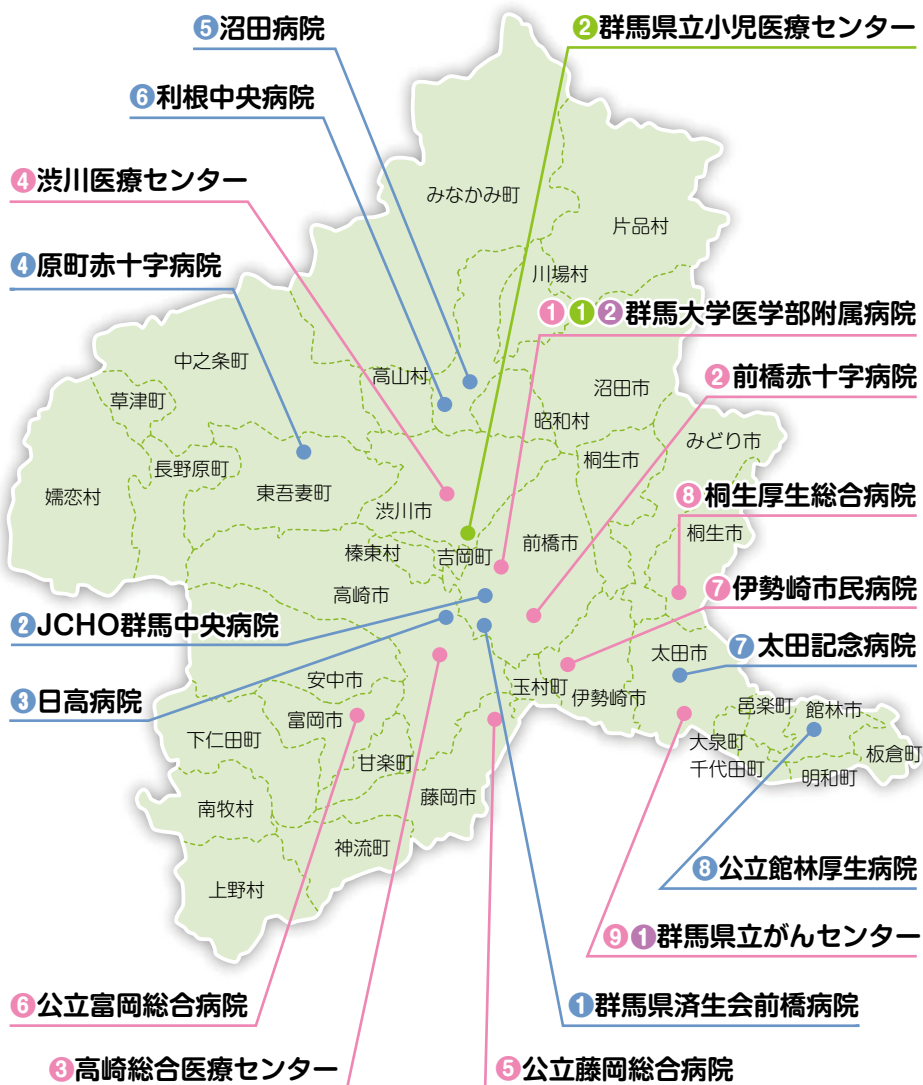
がんゲノム医療連携病院

がんゲノム医療連携病院とは、ゲノム医療を必要とするがん患者が、全国どこにいても、がんゲノム医療を受けられる体制を構築するために、全国で整備が進められている病院です。

本県では、国が指定しているがんゲノム医療中核拠点病院（国立がん研究センター中央病院）の連携病院として、2病院が指定されています。

病 院 名	所在地	電話番号
① 群馬県立がんセンター	太田市高林西町617-1	0276-38-0771
② 群馬大学医学部附属病院	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111

群馬県におけるがん診療連携拠点病院等の一覧



桃色：がん診療連携拠点病院

緑色：小児がん連携病院

青色：群馬県がん診療連携推進病院

紫色：がんゲノム医療連携病院

相談支援センター

がんと診断された患者さんには、たくさんの不安がつきまといます。治療や生活のこと、就労のことや家族のこと、自分のがンをどう伝えたらいいのか、自分はがんとどう向き合っていけばいいのか・・・

がん相談支援センターは、そんな悩みや不安を、専門的な知識を持つ相談員（看護師や社会福祉士など）と一緒に考え、情報を探お手伝いをしています。

相談にかかる費用は無料です。遠慮せずに、ご相談ください。

セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、主治医以外の医師に、診療方針や治療についての意見を聞くことを言い、その意見を参考に、自ら治療方針を選択して決定するためのものです。

セカンドオピニオンは、既に主治医から確定診断を受けたけれども、この治療方針でいいのか悩んでいる人にとって、治療方針を選択する大きな助けになります。

セカンドオピニオンを受けたいときは、事前に主治医や看護師、がん相談支援センターに伝え、セカンドオピニオンを受けたい病院又は医師を選び予約を取りましょう（完全予約制）。主治医に協力してもらい、紹介状や検査データ、セカンドオピニオン申込書などの必要書類を揃え、セカンドオピニオン外来にかかりましょう。

がんサロン

がんのことを気軽に本音で語り合える交流の場です。一人で悩まないで、参加してみませんか。

がん診療連携拠点病院等以外で実施されているがんサロンについては、75ページ～87ページを参照してください。

参考情報

国立がん研究センターがん情報サービスで発行している各種「がんの冊子」、「でんし冊子」、がんの冊子の「音声版」をダウンロードできます。

https://ganjoho.jp/public/qa_links/brochure/cancer.html



(掲載の一部)

●緩和ケアは、がんと診断されたときから始まります

がんと診断されると落ち込むこともあります。また、診断を受けたときには、すでに痛みや息苦しさなどの症状がある場合もあります。緩和ケアは、そのような落ち込みや症状に対して、がんと診断されたときから始まります。緩和ケアは、がんが進行してから始めるものではありません。がんの治療とともに、つらさを感じるときにはいつでも受けることができます。

あってよかった緩和ケア～緩和ケア体験談マンガ動画～
<https://www.youtube.com/watch?v=SIDjjOb6MZs>





群馬大学医学部附属病院

都道府県がん診療連携拠点病院
小児がん連携病院 がんゲノム医療連携病院

病院からのメッセージ

治療から生活支援まで、がんのことならお気軽にご相談ください。

院長 齋藤 繁

相談支援センター

電話番号	027-220-8782 (直通)
受付時間	平日:8:30~16:30
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	027-220-7733 (直通)
受付時間	平日:13:00~17:00
費用	60分:33,000円 (税込)

がんサロン

電話番号	027-220-8782 (直通)
交流会名	なごみサロン
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第2木曜日:13:30~15:00 (8月はお休み)
活動内容	同じ悩みを話したり聴いたり、泣いたり、笑ったり、がん患者さんやご家族が気軽に集って話し合える「分かち合い」の場です。 年に数回「勉強会」も開催しています。 事前の予約は不要です。お気軽にご参加ください。

がん相談支援センター

平日:8:30~16:30

どなたでもご自由にご利用できます。



ひとりで悩んでいることや
気がかりを話してみませんか？
どうぞお気軽にお立ち寄りください。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



前橋赤十字病院

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

全診療科が一体となり、最新・最適な医療を提供していきます。

地域がん診療連携拠点センター長 宮崎 達也

相談支援センター

電話番号	027-265-3333 (代表)
受付時間	平日:8:30～17:15
担当	医療ソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）、 がんに関する専門・認定看護師

セカンドオピニオン

電話番号	027-265-3333 (代表)
受付時間	平日:9:00～17:00 診察は完全予約制です。まずはお電話ください。
費用	30分16,500円(税込) 30分を超えた場合は10分につき5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	027-265-3333 (代表)
交流会名	はーと♥クロス
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月20日(20日が土日の場合はその前の金曜日の開催になります):13:30～15:30
活動内容	がん患者さんやご家族が気軽に本音で「語り合い」「わちあ い」交流ができる場です。どなたでも参加できますのでお気軽 にご参加ください。



当院は2018年6月に新築移
転し、駐車場も広く利用し
やすくなりました。
受付や待合スペースでも快
適にお過ごしいただけま
す。



患者支援センター内の様子。奥には完
全個室の面談室が10部屋あり、プライ
バシーにも配慮しています。



患者図書室の様子。
がん関連のリーフレットや
病気の本もたくさんご用意
しています。図書室の奥の
お部屋ではがんサロンを開
催しています。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



高崎総合医療センター

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

患者さん一人一人に適した、高度で安全な最新の治療を心掛けています。

院長 小川 哲史

相談支援センター

電話番号	027-322-5901 (代表)、027-322-5017 (直通)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	看護師(がん看護専門看護師・認定看護師等)・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	027-322-5901 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00 完全予約制です。相談支援センターにご相談ください。
費用	30分:5,500円(税込) 60分:11,000円(税込)

がんサロン

電話番号	027-322-5901 (代表)
交流会名	ほっとさろん・たかさき
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月10日(10日が土日祝の場合はその前の金曜日の開催になります) 13:30~15:30
活動内容	がん患者さんやご家族の集いの場です。 病気のことや日々の生活のことなどお話しませんか。

がん相談支援センターでは、

- ・ 今後の検査や治療のこと
- ・ 治療の副作用のこと
- ・ 療養生活に関すること
- ・ 治療と仕事の両立に関すること
- ・ 治療にかかる費用のこと
- ・ 在宅医療や介護保険のこと
- ・ ゲノム医療のこと
- ・ 妊育性のこと …など

様々な相談が出来ます。お気軽にご相談ください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



渋川医療センター

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

熟練のスタッフと最新の診療機器で質の高いがん診療を行い、患者さんをやさしく支えます。
院長 高橋 章夫

相談支援センター

電話番号	0279-23-1010 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	医療ソーシャルワーカー・がん関連専門認定看護師



セカンドオピニオン

電話番号	0279-23-1010 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
費用	30分:5,500円 (税込)

がんサロン

電話番号	0279-23-1010 (代表)
交流会名	やすらぎ
対象疾患	がん全般
開催日時	平日:9:00~17:00



活動内容 当サロンは常設しており、がんに関する情報が得られるよう各種参考文献の設置、インターネット利用ができます。
お気軽にお立ち寄りください。

がん相談支援センターでは、

『あなたらしい生活』を支えます。患者さんやご家族、地域の方々からがんに関する様々な相談を専門の相談員がお受けしています。ご相談内容によっては、医師や看護外来（専門看護師・認定看護師）等と連携をはかり相談にお応えします。電話での相談も可能です。

がんサロン「やすらぎ」は、

患者さんやご家族がおしゃべりや病室以外での気分転換、病気や療養中の悩みや心配を話し交流ができる場所です。

週2~3日「がんサロンコーディネーター」が在室し、患者さん・ご家族のお話をゆっくりお伺いします。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



公立藤岡総合病院

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

がんと診断されたら、早めにお気軽にご相談下さい。多職種によるチーム医療を行っています。
病院長 設楽 芳範

相談支援センター

電話番号	0274-22-3311 (代表)
受付時間	平日:9:00～17:00
担当	がん関連専門認定看護師・がん専門相談員



セカンドオピニオン

電話番号	0274-22-3311 (代表)
受付時間	平日:8:30～17:00
費用	30分:5,500円(税込) 60分:7,700円(税込)

がんサロン

電話番号	0274-22-3311 (代表)
交流会名	なごみ
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第2火曜日:10:00～11:30



活動内容 院内外のがん患者さんやご家族が抱えている不安や悩み、病気をとおして経験したことなどを語り合い交流できます。お気軽にご参加ください。

がん相談のご案内

がんになると、医療・療養・生活面等様々な疑問、悩み、不安が生じてきます。相談内容に応じて各認定看護師や、がん専門相談員が皆様のお話を伺い、様々な情報を提供し、解決に向けての道筋を共に考えていきます。
ご相談は無料です。気軽にお声かけください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

病院からのメッセージ

健診から診断・治療・緩和ケアまで幅広く対応しています。

企業長 佐藤 尚文

相談支援センター

電話番号	0274-63-2111 (内線2180)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0274-63-2111 (内線2180)
受付時間	平日:8:30~17:00
費用	60分以内:11,000円(税込)

がんサロン

電話番号	0274-63-2111 (内線2180)
交流会名	お話しませんか
対象疾患	がん全般
開催日時	5・7・9・11・2月第4木曜日:13:30~15:00
活動内容	同じ病気をもっている方々でお話ししてみませんか? お気軽にご参加ください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

伊勢崎市民病院

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

ロボット支援下手術等の低侵襲で最適な治療を目指します。

院長 小林 裕幸

相談支援センター

電話番号	0270-25-5022 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	看護師・がん関連認定看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0270-25-5022 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
費用	30分程度:5,500円 (税込)

がんサロン

電話番号	0270-25-5022 (代表)
交流会名	新島襄記念がん哲学外来なごみカフェ
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第4火曜日:14:00~15:30
活動内容	がん哲学外来なごみカフェは、お茶を飲みながら、ゆったりした雰囲気、患者さんや、ご家族や医療者が対話する場です。 お気軽にご参加ください。



ロボット支援下手術等の低侵襲で最適な治療から、緩和ケアまで幅広く対応しています。

当病院は、ロボット支援下手術等の低侵襲で最適な治療から、緩和ケアまで幅広く対応しています。相談支援センターでは、がんに関する不安や悩みを伺い、問題解決へ向けお手伝いさせていただきます。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



桐生厚生総合病院

地域がん診療連携拠点病院

病院からのメッセージ

一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

院長 加藤 広行

相談支援センター

電話番号	0277-44-7165 (直通)
受付時間	平日:9:00～17:00
担当	がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師・社会福祉士・臨床心理士

セカンドオピニオン

電話番号	0277-44-7150 (直通)
受付時間	平日:8:45～17:30
費用	1回30分以内:無料

がんサロン

電話番号	0277-44-7165 (直通)
交流会名	サロンあおぞら
対象疾患	がん全般
開催日時	最新の開催状況はホームページまたはお電話でご確認ください。
活動内容	がん患者さんやご家族が、不安や悩みを共有する場です。 がん種は問いませんので、お気軽にご参加ください。



プライバシーに
配慮した面談室も
あります



相談支援センターは 地域医療連携室内にあります

相談は面談・電話・メール等で受付中
です

(soudan01@kosei-hospital.kiryu.gunma.jp)

ご予約は不要です

がん看護専門看護師や緩和ケア看護師
も対応していますので、どうぞご利用
ください

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



群馬県立がんセンター

地域がん診療連携拠点病院
がんゲノム医療連携病院

病院からのメッセージ

ご自身にとって、最適な治療を選択するお手伝いをします。

院長 柳田 康弘

相談支援センター

電話番号	0276-60-0679 (直通)
受付時間	平日:9:00～17:00
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0276-60-0679 (直通)
受付時間	平日:9:00～16:00 (要予約)
費用	30分程度:11,000円 (税込)

がんサロン

電話番号	0276-60-0679 (直通) 予約不要
交流会名	がんサロン
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第3木曜日:10:30～11:30 ※院内の感染状況によって中止になる場合があります。中止の場合はHPに掲載します。
活動内容	がん患者さんご本人やご家族が、悩みや体験を語り合うための場所です。がんについての不安や辛さを一人で悩まず、お話ししてみませんか。事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

がん相談支援センター

ひとりで悩まないで、がん相談支援センターへご相談ください



相談員にお声かけください



ハローワークと産業保健センターの
出張相談もあります



1階エスカレーター横の
情報コーナーをご活用ください

ご相談を希望される方はお電話もしくはがん相談支援センターに直接お越しください

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



群馬県済生会前橋病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

当院では、がんに関する様々な悩みや相談に対応する担当部門を設置しています。お気軽に窓口にお声かけください。

院長 細内 康男

相談支援センター

電話番号	027-252-6011 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	医療ソーシャルワーカー・がん看護専門看護師等

セカンドオピニオン

電話番号	027-252-1751 (直通)
受付時間	平日:8:30~18:00
費用	30分:5,500円(税込) 以降30分につき:5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	027-252-6011 (代表)
交流会名	なでしこ
対象疾患	がん全般(血液のがんも含む)
開催日時	偶数月の第3金曜日:15:00~16:00
活動内容	がん患者さんやご家族同士が、病気のこと、病気以外のことを語り合っ て互いに交流できる場、それが“がんサロン「なでしこ」”です。 うれしい時、つらい時、不安な時、どんな時でもサロンをご利用 ください。心とわがサロンを目指して、皆さんをお迎えいたします。



相談支援センター入口

1階 総合窓口横にあります。
相談は無料です。
療養中のお悩みごとはありませんか？
お気軽にお立ち寄りください。

定期的に専門職によるミニレク
チャーなども企画しています。
参加者一人ひとりが話しやすい
雰囲気大切にしています。
みなさんご参加をお待ちして
おります。



がんサロン
なでしこ

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



JCHO群馬中央病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

がん患者さんが抱える様々な問題に、寄り添っていきます。

院長 内藤 浩

相談支援センター

電話番号	027-221-8165 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	看護師・がん化学療法看護認定看護師・社会福祉士

セカンドオピニオン

電話番号	027-221-8165 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
費用	30分:11,000円(税込) 以降30分につき:5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	027-221-8165 (代表)
交流会名	かんじゃサロン「こころ」
対象疾患	がん全般
開催日時	奇数月の第2木曜日:13:30~15:00
活動内容	かんじゃサロン「こころ」はがん患者さんやご家族、がんピアサポーターさん、医療従事者が集い語り合う場です。事前申し込みは不要です。開催日は当院ホームページにてご確認ください。

かんじゃサロン「こころ」の様子



1階ロビー(入退院センターや休憩コーナー)にパンフレット等を設置しています



誰かに話を聴いてもらいたい。不安や心配事があるけど誰に聞けばいいのかわからないなど、一人で悩まずお気軽にご相談ください。相談希望の方は、1階患者相談窓口がん相談支援センターにお越しいただくか、職員にお声がけください。相談内容に応じてがん専門相談員やメディカルスタッフが対応させていただきます。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

日高病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

ご不安につきましてはいつでもお気軽にご相談ください。

院長 関原 哲夫

相談支援センター

電話番号	027-362-6201
受付時間	平日:9:00～17:30 土曜日:9:00～17:30
担当	がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	027-362-6201
受付時間	平日:9:00～17:00
費用	平日30分:5,500円(税込) 60分以上13,200円(税込)

がんサロン

電話番号	027-362-6201
交流会名	ふれあいサロン
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第3水曜日:15:00～16:30
活動内容	院内外の患者様家族が抱えている不安・悩み・療養を経験したことなどを語り合い、相互支援できます。



相談支援センターは病診連携室内にあります。
がんに関するお悩みなんでも聞きます。
1人で悩まずお気軽にご相談ください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



原町赤十字病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

皆様の不安を軽減し、かつ皆様の希望が叶えられるよう、チーム全員で対応します。
院長 内田 信之

相談支援センター

※受付時間について令和7年10月以降はお問い合わせ下さい。

電話番号	0279-68-0550 (直通)
受付時間	平日:8:30~15:00 土曜日:8:30~10:30 (第1、3開院日のみ)
担当	がんを担当する看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

※受付時間について令和7年10月以降はお問い合わせ下さい。

電話番号	0279-68-0550 (直通)
受付時間	平日:8:30~16:50 土曜日:8:30~12:30(第2・4・5は除く) 完全予約制
費用	平日30分:5,500円(税込) 以降30分につき:5,500円(税込)

がんサロン

※受付時間について令和7年10月以降はお問い合わせ下さい。

電話番号	0279-68-0550
交流会名	がんサロン
対象疾患	がん全般
開催日時	毎月第3土曜日:11時~12時
活動内容	常設の「がん情報コーナー」もございますので、お気軽にお越しください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



沼田病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

広く地域の患者様及びご家族のがんに関する相談等に対応し、不安や疑問を解消するために相談支援センターを設置しております。お気軽にお立ち寄りください。 院長 前村 道生

相談支援センター

電話番号	0278-25-7017 (直通)
受付時間	平日:9:00～15:00
担当	医療ソーシャルワーカー、緩和ケア認定看護師、がん化学療法認定看護師

セカンドオピニオン

電話番号	0278-23-3972 (直通)
受付時間	平日:9:00～15:00
費用	30分程度:5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	0278-25-7017 (直通)
サロン名	ふれあい
開催日時	月～金(祝日除く):9:00～17:00
活動内容	各種参考文献の設置、インターネットの閲覧など。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



利根中央病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

安心と安全、患者さん中心のチーム医療でみなさんの健康回復をお手伝いします。

病院長 関原 正夫

相談支援センター

電話番号	0278-22-4321 (代表)
受付時間	平日:9:00～17:00 土曜日:9:00～12:30
担当	がん看護専門看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0278-22-4321 (代表)
受付時間	平日:9:00～15:00
費用	30分:5,500円(税込) 以降30分につき:5,500円(税込)

がんサロン

電話番号	0278-22-4321 (代表)
サロン名	でんでんむし
開催日時	月曜～金曜(祝祭日を除く):9:00～17:00
活動内容	常設のがんサロンです。 がん患者さまとそのご家族は自由にご利用いただけます。 小冊子・書籍の設置、医療用ウィッグなどを展示しています。



病院正面玄関付近にあります総合支援センターに直接お越しください。



お待たせしてしまう場合もありますので、あらかじめ電話にてご連絡ください。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

病院からのメッセージ

総合病院なので、高齢者や合併症のある患者さんにも各診療科連携して対応しています。
院長 有野 浩司

相談支援センター

電話番号	0276-55-2200 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00 土曜日:8:30~12:15 (第2、第4土曜日以外)
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0276-55-2200 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00 土曜日:8:30~12:15 (第2、第4土曜日以外)
費用	30分:7,700円(税込) 60分:11,000円(税込)

がんサロン

電話番号	0276-55-2200
交流会名	はなみずきの会
対象疾患	乳がん
開催日時	5月・9月・1月 第3土曜日:14:00~15:30 (変更となる場合がありますので、事前に病院ホームページでご確認ください。) ※要申込・院内設置の申込用紙もしくは電話にて。
活動内容	同じ病気を経験した患者様やご家族同士で、日頃の悩みや不安、疑問を語り合う交流の場を提供します。皆様のご参加をお待ちしております。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



公立館林厚生病院

群馬県がん診療連携推進病院

病院からのメッセージ

がんの不安は一人で悩まず、お気軽に病院職員にご相談ください。

病院長 松本 正弘

相談支援センター

電話番号	0276-72-3140 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0276-72-3140 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:00
費用	30分:7,700円(税込) 60分:11,000円(税込)

がんサロン

電話番号	0276-72-3140 (代表)
交流会名	おしゃべりの会
対象疾患	がん全般
開催日時	月1回 毎月第3木曜日 ホームページ・院内掲示板上に掲載
活動内容	・ がんと診断された方、治療中の方やそのご家族、ご親戚、ご友人の皆さま、みんなで体験談や悩み事を話し合う場を提供しています。 ・ 勉強会の開催 ・ 季節に合わせたイベントの開催（花見、クリスマス会など）

おしゃべりの会

がんと診断された方、治療中の方やそのご家族、ご親戚、ご友人の皆様、みんなで体験談や悩み事などを、気軽におしゃべりしてみませんか？



化学療法室



がんに関する専門外来のご案内

- 化学療法室
- ストーマ外来 毎週月・金曜日 9:00~16:00(予約制)
- がんわちチームによるがん相談



がんに関する認定看護師が対応させていただきます。

十分な時間をご用意させていただくため、事前にお電話などで希望日時をお知らせください。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。



群馬県立小児医療センター

小児がん連携病院

病院からのメッセージ

小児がんは約8割が治るようになりました。是非、ご相談ください。

院長 浜島 昭人

相談支援センター

担当部署	地域医療連携室
電話番号	0279-52-3551 (代表)
受付時間	平日:8:30~17:15
担当	看護師・医療ソーシャルワーカー

セカンドオピニオン

電話番号	0279-52-3551 (代表)
受付時間	平日:9:00~17:00
費用	45分:11,000円(税込)

※当センターでは、小児がんを集学的治療することによって最大限の治療成果が得られる専門医療を行っています。

個々の症例については、小児内科医（血液腫瘍科）、各外科医師、放射線科医師、病理診断医、また、必要な時は院外から医師を招いてカンファレンスを実施することにより高度な医療が提供できるように努力しています。

また、国内（一部は海外）で実施されているほとんどの小児白血病、小児がんの多施設共同研究にも参加し、標準的治療のみではなく、より高度な治療の開発にも参加しています。

※当院は、一般医療機関では対応が困難な特殊又は専門的な医療を提供する専門病院です。紹介状なしの受診は原則的にできませんのでご了承ください。受診を希望される方は、通院又は入院している病院等の医師などに相談し、紹介状をお受け取りください。

病院間で初診日の予約をいたしますので、日時を確認しご来院ください。

※来院される際は、必ず紹介状をお持ちください。



※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

アピアランスケアに関するリーフレット

入手方法

以下のホームページからダウンロードできます。

【横浜市ホームページ】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/gan/taisaku/appearance.html>



このリーフレットは横浜市、横浜市内でアピアランスケアに取り組む医療者、国立がん研究センター中央病院が協力して作成されました。

特に患者が悩むことの多い4か所「髪、爪、肌、眉毛・まつ毛」のケア方法について、医療者の立場からのアドバイスが載っています。また、ウィッグの探し方や選び方が載っています。



頭頸部の手術をすることで、顔や首に大きく傷が残るといわれた場合の心がまえ、傷や変形への対処方法等を記載しています。また、乳がんの手術直後の見た目の整え方等を記載し、パッドの種類や選び方等を簡単に解説しています。





Q1

医師に質問したくても、緊張しているせいか、うまくできません。どうしたらうまくできますか。



A1

医師を前にすると緊張してしまう経験は多くの方にあるのではないのでしょうか。さまざまな理由が考えられますので、ひとつずつ考えていきます。

緊張して質問を忘れてしまい聞くことができないという場合には、あらかじめ質問したいことをメモしておき、診察のときにとっていくという方法があります。メモを見ながら質問しても構いません。質問がたくさんあるときには、聞きたい順に書いておくことで重要なことから質問できます。

医師が忙しそうだから質問できないという方もいるでしょう。たしかに医師は、たくさんのお患者さんを担当して忙しいと思います。しかし、患者さんに身体と治療のことを理解してもらった上で治療を受けて欲しいと思っていますから、質問を大切にしているはずですよ。遠慮せずに質問してみてください。それでも気おくれしてしまうという場合には、ご家族と一緒に診察室に入るといいかもしれません。ご家族が横にいれば、質問しやすくなるのではないのでしょうか。患者さんの代わりに、ご家族から質問してもらうこともできます。

質問すると医師の気を悪くしてしまうのではないかと心配している場合には、質問する前に、「お忙しいのにすみません。質問したいのですが、お時間よろしいですか？」などと伝えてみてはいかがでしょうか。医師は質問を受ける心づもりができますし、忙しくてどうしても時間がない場合には、事情を説明してくれるでしょう。

その他、お困りのことがありましたら、各病院に設置されている相談窓口を訪ねてみてください。担当者が状況を聞きながら、一緒に考えてくれます。お気軽にご利用ください。



Q2

医療費が支払えるか心配です。何か良い方法がありますか。



A2

一度に高額な医療費を支払うことが難しい方や、高額療養費の還付（支払いから通常3～4か月後）まで待つことが難しい方には、「限度額適用認定証」や「高額療養費貸付(委任払) 制度」を利用できる場合があります。

「限度額適用認定証」とは、事前に申請すると、窓口での支払い額を自己負担限度額までに抑えられるものです。加入している保険者（協会けんぽ、国民健康保険等）に申請すると交付されます。なお、入院中の食事代、差額ベッド代、先進医療などの保険適用外のものは含まれません。治療が始まる前に申請しましょう。

「高額療養費貸付(委任払) 制度」とは、高額療養費が支給されるまでの間、無利子の貸付を行う制度のことです。高額療養費は同一月に支払った医療費が、一定の自己負担限度額を超えた場合に本人の申請により支給されますが、審査と決定に約3か月かかります。そのため、当座の医療費の支払いに充てる資金として、高額療養費支給見込額の8割相当額を無利子で貸し付けるものです。制度の有無や詳細は、加入している保険者へお問い合わせください。

その他の制度を3つご紹介します。

「傷病手当金」は、健康保険の加入者が病気や怪我のために会社を休み、事業主(会社等)から給与を受けられない場合に支給されるものです。加入先の保険者へお問い合わせください。なお、国民健康保険の方は制度がありません。

「障害年金」は、公的年金に加入している65才未満の方が、病気やけがにより、初診日から1年6か月が経過した時点で、一定の障害状態になり日常生活や就労に支障が出たときに支給されるものです。お近くの年金事務所へお問い合わせください。

「身体障害者手帳」は、疾病によって身体に障害が残った方（人工肛門の造設等）が、日常生活や仕事に著しい制限を受ける状態になった場合に、市町村窓口で申請すると、等級により助成や支援を受けられるものです。お住まいの市町村へお問い合わせください。

お金・生活のサポート制度については68ページ～73ページをご覧ください。

4 がんの治療と仕事の両立を支援します

さんぽセンターでの治療と仕事の両立支援について

群馬産業保健総合支援センター

お手伝いします！治療と仕事の両立

～次の様な悩みや心配事、ご相談ください～

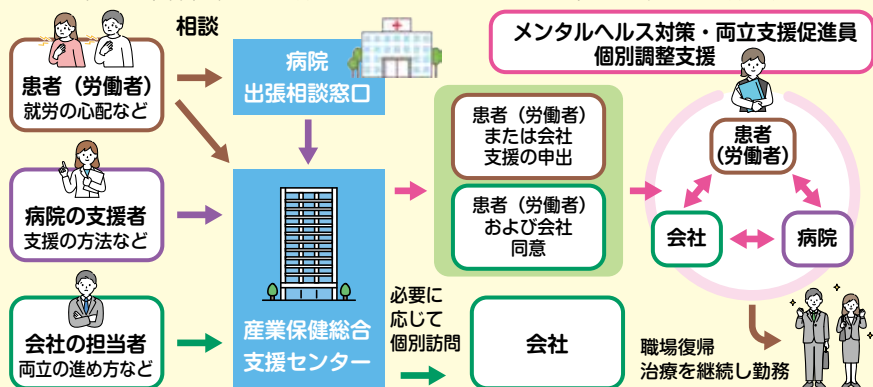
治療をしながら働きたい…！
会社にどう相談したらよいだろう？
利用できる支援制度にはどんなものが？

病気になった社員にどんな対応をすれば？
医療機関に意見を聞くにはどうすれば？
社内の両立支援制度を整える方法は？



対 象 者	患者（労働者）、事業主、人事労務担当者
支 援 者	群馬産業保健総合支援センターのメンタルヘルス対策・両立支援促進員（社会保険労務士・保健師等）
相談方法	電話・メール・面談
相談場所	病院の出張相談窓口・会社・群馬産業保健総合支援センター *R6.10現在 【定期窓口】 群馬県立がんセンター 毎月第2月曜日・第4水曜日 群馬大学医学部附属病院 毎月第2水曜日 高崎総合医療センター 毎月第2水曜日・第4水曜日 前橋赤十字病院 毎月第3木曜日 たてばやし心療クリニック 毎月第4木曜日 桐生厚生総合病院 毎月第1火曜日 【随時窓口】 日高病院
費 用	無料

群馬産業保健総合支援センターにおける治療と仕事の両立支援の流れ



～お気軽にご相談ください！～



独立行政法人労働者健康安全機構

群馬産業保健総合支援センター

〒371-0022

前橋市千代田町1-7-4（群馬メディカルセンター2階）

TEL:027-233-0026 FAX:027-233-9966

e-mail:info@gunmas.johas.go.jp

HP:https://www.gunmas.johas.go.jp

ハローワークでの治療と仕事の両立支援について

群馬労働局

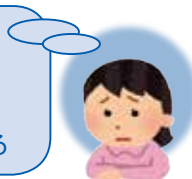
第2章

病気とつきあいながら働いてみませんか

～ハローワークによる長期療養者への就職支援～

◆お仕事でこのようなお悩みはありませんか？

- ・通院の必要はあるが働きたい
- ・自分の病状・体力にあった仕事を見つけたい
- ・治療と仕事の両立について教えてほしい
- ・就職活動で、企業に病気のことを伝えるべきか迷っている



ハローワークの相談員と一緒に、不安を解消していきましょう

- ◆病状や治療状況に合わせたお仕事のご提案をします
- ◆応募書類の作成や、面接の受け方についてアドバイスします
- ◆職業訓練や就職支援セミナーなどをご紹介します
- ◆退職した場合の雇用保険の手続きもご案内します
- ◆まだ就職の準備ができていない場合でも、就労に関する考えの整理等の相談にも応じています

在職中の方も
相談できます



ハローワーク前橋とハローワーク太田では、専門の就職支援担当者（就職支援ナビゲーター）があり、長期療養者へマンツーマンで支援しています。前橋、太田地域以外の方も、お住まいの地域のハローワークと連携して支援しています。これまでのご経験や適性、病状や治療状況などに合わせたお仕事の紹介などの支援を行っていますので、お気軽にご相談ください。

《医療機関での出張相談》

県内の連携協定を結んだ医療機関において出張相談を行っています。

〔連携先医療機関〕群馬県立がんセンター、群馬大学医学部附属病院、桐生厚生総合病院



【長期療養者就職支援の主な流れ】

① プレ相談（初回相談）

② 求職申込み
（お仕事探しの登録）

③ 就職支援開始

相談
場所

医療機関での出張相談
（ハローワークでも可）

ハローワーク（医療機関
での出張相談も可）

ハローワーク（医療機関
での出張相談も可）

お気軽にお電話ください（担当者が不在の場合もありますので、まずはご連絡をお願いします）

ハローワーク太田 〒373-0851 太田市飯田町893 TEL:0276-46-8609（部門コード 32#）

ハローワーク前橋 〒379-2154 前橋市天川大島町130-1 TEL:027-290-2111（部門コード 42#）

がん相談支援センターでの治療と仕事の両立支援について

前橋赤十字病院 ソーシャルワーカー 中井 正江

※前橋赤十字病院の相談支援センターの詳細は、15ページをご覧ください

がんと診断されると、病気のことだけではなく、仕事のことにも心配になるものです。

2020年の厚生労働省の調査によるとがんと診断されても、仕事を持ちながら通院している人は約44.8万人で、2016年の同調査と比べ、8万人増えています。しかし、その一方で診断後に4%の人が解雇され、約30%の人が依願退職しているという統計も（がん対策推進企業アクション）あります。

このような状況の中、生きがいや生活基盤の安定のために、仕事を続けながら治療と両立していくことが求められています。そして支援を受けて仕事を辞めなくても治療を続けられることも多くあります。

- ・仕事が続けられるだろうか？
- ・治療のために仕事が休めるのだろうか？
- ・治療に合わせた働き方ができるだろうか？
- ・上司や同僚に、病名や病状について、どのように伝えたらよいだろうか
- ・仕事を休み収入が減少した場合に利用できる制度について知りたい
- ・仕事を辞めたら医療費はどうなるのか
- ・他の患者さんはどうしているか など

そのような時には、がん相談支援センター（前掲がん診療連携拠点病院等に設置）にご相談下さい。専門の相談員（ソーシャルワーカー、看護師など）が、ご相談に応じます。

がん相談支援センターでは、患者さんの状況や思いをお聴きしご希望や必要に応じて主治医や職場の関係者と調整し、治療と仕事が両立できるよう支援していますので是非ご相談ください。

参考情報

(表)



「群馬県小児・AYA世代のがん患者等妊孕性温存療法等助成事業」の手続きについてはP.96をご覧ください。

(裏)



5 がん治療と妊娠について

AYA世代のがん治療と子どもを持つこと

第2章

群馬県立がんセンター 院長 柳田 康弘

がんの診断を受けて、これから治療を始める方へ

不安な日々を過ごされ、人生の様々なことを考えていることと思います。また、がんを治すためには、いくつかの人生の犠牲は仕方ないと思われるかもしれませんが。

皆さんの中には、将来自分の子どもを持ちたいと考えている方や、今は考えられないけれど、もしかしたら将来的にそう思うかもしれないという方がいらっしゃると思います。

今、ここでちょっとだけ考えてみてください。

これから行う全身化学療法や卵巣・精巣に対する手術や放射線治療によって、自分の子どもを持てる可能性が永久に失われてしまうことがあります。またホルモン療法であっても、治療期間中は妊娠できませんので、その期間分だけ年齢を重ねることになります。

以前は、「がんの治療が優先なのだから仕方ない」と片付けられて来ました。しかし現在は、女性の方なら受精卵凍結・卵子凍結・卵巣組織凍結という方法で、男性では精液凍結保存という方法で、治療後に自分の子どもを持つ可能性を残すことができます。また、これらの妊孕性温存療法に対して、43歳未満の方を対象に、厚生労働省から助成金が出るようになりました。

最近では多くのがん治療施設で、妊娠可能年齢の患者さんに、「将来に子どもを持ちたいか？」をたずねるようになってきています。しかしながら、治療の準備や説明に追われ、医療者側からおたずねすることが抜けてしまうことがあります。

そんな時は皆さんから遠慮なく、「妊娠できる可能性を残す方法があるって聞いたんですけど?」とか、「このがんの治療を受けると子どもを持つ事はあきらめなくちゃいけないですか?」と主治医にたずねてください。

私たち医療者は、がんの診断がついて治療が始まるまでのあまり長くない期間に、妊娠する可能性を残す方法を提供できます。そのために「群馬県がんと生殖医療ネットワーク」と言う組織をがん治療医と生殖医療医で立ち上げています。

結果的に自分の子どもを持つための対策をしないと結論したとしても、一度このことを考えてみてはいかがでしょうか。

「群馬県がんと生殖医療ネットワーク」

<https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/626553.html>

群馬大学大学院 医学系研究科産科婦人科学 教授 岩瀬 明

妊よう性温存療法とは、将来、妊娠・出産できる可能性を残しておくための準備と言い換えることができます。妊娠・出産するためには、女性の場合、卵巣に卵子があること、妊娠・分娩を可能にする子宮があること、男性の場合、精巣に精子があること、が必要になります。そして卵子と精子が受精して生じる受精卵（胚と呼ばれることもあります）が、子宮の中で育ち胎児となり、赤ちゃんとして生まれてきます。卵巣・卵子、精子、受精卵は凍結保存することが可能となっており、抗がん剤や手術などの影響による卵巣機能および精巣機能の低下に備えておくための手段となります。

受精卵の凍結は、不妊治療としての体外受精の際にも広く行われている方法です。受精卵を得るためには、卵子と精子の両方が必要になるため、カップルで受けていただく治療となります。不妊治療の時と同様に、多くの場合、排卵誘発剤を使用し、複数の卵子を採取します。体外で精子と受精させ、受精卵となったものを液体窒素中で凍結保存しておきます。妊娠が可能になった段階で、凍結した受精卵を融解して子宮内に戻します（胚移植）。

卵子凍結は、卵子を採取するまでは受精卵の時と同じですが、受精させることなく卵子として凍結保存をしておきます。凍結前に精子を必要としないため、女性単独で受けていただける治療になります。妊娠が可能になった段階で、卵子を融解し、相手の男性の精子と受精させた後、胚移植します。

卵巣凍結は、卵巣の全体または一部を凍結保存しておく方法になります。卵巣を取り出す時、凍結保存した卵巣の一部を体内へ戻すときに手術が必要となります。卵巣として保存することにより、卵子凍結より多くの卵子を保存できる、事前に排卵誘発剤を使う必要がないなどの違いがあります。一部の施設でのみ行われています。

精子凍結では、射精された精子を凍結保存しておきます。

2022年4月から不妊症に対する体外受精などの生殖補助医療が保険診療となりました。同様の治療であっても、妊よう性温存療法として実施される場合は、自費診療となります。どの治療を受けることができるのかについては、費用を含め各施設の担当医と十分相談の上、お決めいただく必要があります。自費診療として実施された妊よう性温存療法については、助成事業の対象となる場合があります。詳しくは群馬県がん対策ホームページ「群馬県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性（にんようせい）温存療法助成事業」をご確認ください。

群馬大学医学部産科婦人科学教室

<https://gunma-obgyn.jp/information/to-patient/1800/>

第3章 がんの治療

～がんの治療方法、セカンドオピニオン、自宅での療養～



中之条町
@hide_photo6

治療法を考える

群馬県立がんセンター 院長 柳田 康弘

がんと診断されただけで頭が真っ白になった、治療法の説明などまったく入ってこなかった、というお話を聞くことがあります。がんと一口に言っても、種類も性格も様々です。速やかな治療開始が必要なこともあれば、1年後でも何ら健康に影響がないこともあります。まずは落ち着いて、自分のがんの状態をしっかりと把握することが大切ではないでしょうか。

がんの診断をもとに治療方針を考えて行きますが、診断には、臓器や病期（進行の程度）、がんの組織型や悪性度、最近では特定の遺伝子に変異があるかないかなども含まれます。がんの治療には、それぞれ臓器別の診療指針があり、最適とされる治療（標準治療）が示されています。病期はがんの大きさや周囲への広がり、転移の有無などによって決まります。自覚症状の程度やご本人の持病なども考慮する必要があります。標準治療に耐えうるか、標準治療を受け入れられるかも考慮しなければなりません。必要な検査を受け、正確な診断を受け、より安全でより効果的な治療選択をして下さい。

●手術療法

口腔内から直腸までの臓器の表面の上皮といわれる組織から発生する悪性腫瘍をがんといいます。大きくなると塊となるので、切除という手段が一番確実です。こうした固形がんの場合、元の臓器にとどまっている場合には、部分摘出や臓器そのものの摘出が行われることが多いのです。腫瘍が臓器の深部まで広がっていたり（浸潤）、悪性度が高い場合には、がんが転移しやすい所属リンパ節を、併せて摘出することになります。離れた臓器にまでがんが広がっている場合には、手術をしても有益でないことがあり、症状を緩和する小さな手術にとどめることもあります。悪性度の高くないがんでは手術せずに様子を見ることがあります。

●放射線治療

放射線治療は切らないというだけで、手術と同様に局所療法です。胃や大腸などの動きのよい管状の臓器には向きません。放射線効果の高いがんでは、手術より体に与える負担が小さく、進行したがんでも適応となります。最近では正常組織への放射線の副作用をできるだけ低く抑えるように、画像とコンピューターを用いた強度変調放射線治療や組織内照射など進歩しつづけています。重粒子線治療は放射線治療に分類されます。

●薬物療法

局所療法だけでは再発する可能性が高いと判断された場合には、抗がん剤治療が追加されます。血液の「がん」では抗がん剤療法が主たる治療となります。

抗がん剤と一口に言っても最近ではがん薬物療法と総称され、以前からの抗がん剤を細胞障害性抗がん剤、正常細胞にはなく、がん細胞にだけ発現している異常なタンパク質の働きを阻害する分子標的薬、がん細胞が免疫から逃れる機構を妨げて免疫の働きでがん細胞を除去する免疫チェックポイント阻害剤などがあります。

●標準治療

早期発見され、小さな手術で治る可能性が高いと言われたら気持ちは楽になります。大きな手術、高侵襲な手術、機能喪失の伴う手術を、生きるためには選択せざるを得ないとなるとストレスは大きいかもしれません。少し治癒率が低くなる場合でも、低侵襲な治療方法を選択されることが、その後の生活の質を改善することもあります。

標準治療はこうですという話をされることが多いと思います。現在がんの標準治療で用いられる治療法は、手術、放射線、薬物療法、免疫チェックポイント阻害薬などです。

科学的に有効性が証明された現時点での最善の治療が、標準治療です。決して並の治療ではありません。本邦では保険適応で受けられる治療です。また、さらにより良い未来の標準治療を開発するために、臨床試験が行われています。担当医から臨床試験の話がありましたら、未来の患者さんのためにもご検討ください。

すべてが自費で行われる治療は、まだ科学的有効性が証明されていないものがほとんどです。高額な治療が良い治療とは限らないことをご理解ください。

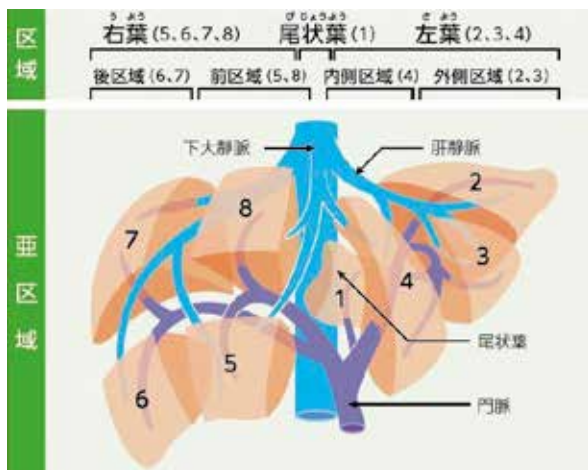
がんの標準治療として行われている手術療法、内視鏡治療、薬物療法、放射線療法がどのように行われているか専門の先生方に解説いただきました。

●手術療法＜肝臓がん＞

群馬大学医学部附属病院 外科診療センター長
肝胆膵外科 教授 調 憲

肝臓がんは肝細胞癌と肝内胆管癌に大別されます。頻度的には肝細胞癌が多く慢性の肝臓病に伴って発生することが多いのに対し、肝内胆管癌は健全な肝臓に発生する特徴があります。慢性の肝臓病ではウイルス性の肝炎や肝硬変が多いのですが、最近ではウイルス性の肝炎を伴わない肝細胞癌が増えています。慢性の肝臓病があると肝臓の機能が障害され、その程度によって治療法が制限されるため、肝臓の機能やがんの進行度や場所などを総合的に判断して治療法を決定します。肝内胆管癌は手術が第一選択ですが、新たな薬剤が開発され成績の向上が期待されます。

手術療法としてはがんを含めた肝臓の一部を切除する肝切除、障害が進んでいて通常の治療が困難な症例では、肝臓全体を摘出して健全な肝臓を移植する肝移植が行われます。肝切除は肝臓がんの状況によって腹腔鏡を用いて小さな傷で手術を安全に行うことが可能です。また、最近では手術支援ロボットを用いた手術も行われます。肝細胞癌に対しては様々な新規治療が開発されており、内科、放射線科の医師も治療を行います。それぞれ得意とする治療法があり、当センターでは複数の診療科が共同で話し合い、患者さんとともに適切な治療法を選択しています。



●手術療法＜食道がん＞

群馬大学医学部附属病院 消化管外科 教授 佐伯 浩司

食道がんは、中高年の男性に発生しやすい病気で、食事のつかえ、胸の痛み、かすれ声などが主な症状です。治療は、病状によって、1) 内視鏡による治療、2) 手術、3) 放射線療法・薬物療法などに分かれます。

手術は、「切除」と「再建」からなり、「切除」では通常右側の胸からがんを含む食道を取り除き、「再建」では胃や腸を用いて食事が食べられるようにつなぎ合わせます。操作が、胸部、腹部、頸部と広い範囲におよぶため、体に対するダメージも他の手術より大きいと言えますが、技術や管理の進歩により、より安全に、患者さんにやさしく施行できるようになってきました。特に当科で行っている鏡視下手術・ロボット支援手術では、傷を小さくして体へのダメージを軽減することができ、術後の回復も早くなりました。

ロボット支援手術（ダビンチ手術）

群馬県立がんセンター副院長 尾嶋 仁

ロボット支援手術（ダビンチ手術）は、前立腺がん、腎がん、膀胱がん、消化器外科領域がん（食道がん、胃がん、直腸がん、結腸がん）、縦隔がん、肺がん、子宮体がん、中下咽頭がん、喉頭（声門上）がんで保険適用となっています。

ハイビジョン3D画像によるカメラを操作、カメラのブレが無く、鉗子のブレが無い（手振れ防止装置）操作が可能です。ダビンチ手術により、体腔内深部での細かい操作や神経周囲のリンパ節郭清、剥離等が安全に行えるため合併症減少につながります。

●内視鏡治療＜早期食道・胃・十二指腸・大腸がん＞

群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 教授 浦岡 俊夫

部位別でかかった人が多いがんは、男性では①胃がん②肺がん③大腸がん、女性では①乳がん②大腸がん③胃がんの順位であり、胃がんと大腸がんは男女を問わず比較的身近な病気です。これらのがんは早期発見・治療されれば、根治が望め、最近では技術の発展が著しい内視鏡にて治療できる場合が多くなっています。

内視鏡の専用メスを使って、がんと粘膜下層と一緒にはがし取るように切除するのが内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）です。かつては人工肛門にならざるを得なかった直腸がんや大きな病変もESDで切除できる可能性が広がりました。おなかを切らず全身麻酔もしないので体への負担が少なく、術後の社会復帰が早期に見込める利点があります。ただし、高度な医療技術なので、経験の多い専門施設で受けられることが薦められます。

●がん薬物療法（がん化学療法）

群馬大学医学部附属病院 元腫瘍センター長 塚本 憲史

がん薬物療法は、薬の力でがん細胞の増殖を抑えるものです。局所に留まったがんの有効な手術、放射線治療とは異なり、がんがある程度広がっていても効果を発揮する治療法です。がん薬物療法では、従来の抗がん薬（細胞障害性抗がん薬）、ホルモン剤、分子標的薬のほか、最近では免疫チェックポイント阻害薬を単独、または抗がん薬と組み合わせて治療を行います。

治療薬は効果、安全性について専門委員会で審査され、そこで承認されたスケジュールで内服、点滴によって投与されます。がん薬物療法は数か月以上に及ぶ治療法です。最近では外来の治療センターで行われることが多く、副作用もある程度患者さんご自身で管理する必要があります。がん薬物療法は、いかに副作用を最小限にとどめ、スケジュール通りに治療薬を投与できるかが最大のポイントです。そのため、担当医、病院の専門スタッフの注意深い観察はもちろんですが、治療を受けられる患者さんの心構えも重要です。

●放射線療法

群馬大学医学部附属病院 放射線治療科 教授 大野 達也

放射線療法では、がんの部位に放射線を照射することにより効果を発揮します。手術と同じく局所を治すためのがん治療法です。体のどの部位のがんでも対象になり、小児から高齢者まで用いられます。がんの根治を目指す場合から、がんによる痛みの改善のように症状緩和する場合まで、幅広い目的で使用することができます。照射の方法は、体の外から病変部位を照射すること（外部照射）が一般的ですが、小さな線源を使ってがんの内部から照射する方法（小線源治療）もあります。いずれも、治療計画用のCTを撮影して精密な計画を立てた後、照射します。照射している間は熱さや痛みなどは感じませんが、動かないようにじっとしている必要があります。放射線療法は体への負担が少ない治療であり、最近では技術進歩により、がんの部位に対し集中性の良好な高精度放射線治療が登場しています。放射線療法には様々な目的や方法があるため、放射線治療の専門家とよく相談して治療を行なうことが大切です。重粒子線治療については、46ページをご覧ください。

●重粒子線治療

群馬大学医学部附属病院 放射線治療科 教授 大野 達也

重粒子線は放射線の一つです。一般の放射線治療では、エックス線やガンマ線などが主に用いられています。これに対し、群馬大学では炭素イオンを用いた重粒子線治療を行っています。群馬大学は、国内の大学としては初めての重粒子線治療施設です。

重粒子線治療は一般の放射線治療に比べて、①標的となるがん病巣に対して線量を集中することができる②標的細胞を死滅させる効果が高い③治療期間が1～4週間と短い（通常6-7週間）—などの特長があります。

がん治療には、手術や放射線治療のように局所を治療する方法と、薬物を用いて全身的に治療する方法があります。重粒子線治療は局所の治療です。従って、がんが体の広範囲に転移している場合には適応とはなりません。

重粒子線治療は先進医療または保険診療で実施されており、がんの種類や進行度により適応は異なります。現在保険適用になっているのは、骨軟部腫瘍、頭頸部がん、前立腺がん、肝細胞がん、肝内胆管がん、膵臓がん、大腸がん再発、子宮頸がん、肺がんですが、詳しい適応については担当の医師に確認する必要があります。食道がんや転移がんの一部については、先進医療として実施されています。詳しい情報は、病院ホームページから入手することができます。

●重粒子線治療について詳しく知りたい方は

ホームページ <https://heavy-ion.showa.gunma-u.ac.jp>



●免疫療法とは

抗がん薬、分子標的薬が、がん細胞に直接作用して、がん細胞を死滅させる治療であるのに対し、免疫療法は、患者さんの免疫能を高めることにより、間接的にがん細胞を攻撃する方法です。

●有効性が確認された免疫療法は限られています

有効性が認められている免疫療法は、「がん細胞が免疫にブレーキをかける」仕組みに働きかける「免疫チェックポイント阻害薬」に限られています。現在保険適用が認められているのは下記薬剤で、その保険適用疾患、使用方法は薬剤ごとに異なります。

薬の種類	薬剤名（一般名）	商品名
CTLA-4阻害剤	イピリマブ トレメリマブ	ヤーボイ イジウド
PD-1阻害剤	ニボルマブ ペムブロリズマブ セミプリマブ	オプジーボ キイトルーダ リブタヨ
PD-L1阻害剤	デュルバルマブ アテゾリズマブ アベルマブ	イミフィンジ テセントリク バベンチオ

●自由診療で行われる免疫療法は有効性が確認されていません

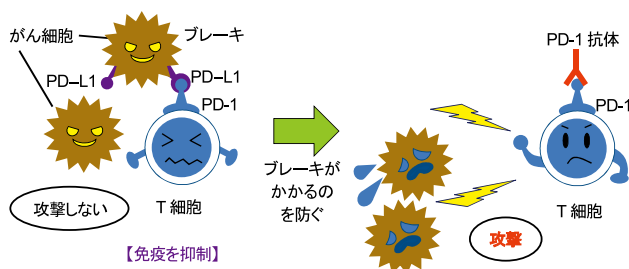
医療に関する情報が世の中に多く出されています。中には効果が証明されていない「免疫療法」と称するものが、全額治療費を患者さんが支払う自由診療として行われています。標準治療で十分な効果が得られず治療選択に困った場合、がんゲノム医療、臨床試験、治験などの医療を熟知した医師に相談、あるいは、セカンドオピニオンを受けることをお勧めします。

●免疫チェックポイント阻害薬が働く機序

ヒトの免疫細胞は、自分の体にはないもの（ウイルス、細菌など）を異物と認識して、攻撃し排除する機能を備えています。しかし、免疫の働きが強

くなりすぎると、正常細胞まで攻撃してしまうことがあるため、ブレーキ機能も備えています。免疫細胞の一種であるT細胞の表面には、「免疫チェックポイント」と呼ばれるブレーキ役のたんぱく質があり、T細胞が過度に働くのを抑えています。

がん細胞は、このT細胞のブレーキシステムを利用し、T細胞の攻撃から逃れて増殖しています。免疫チェックポイント阻害薬は、がん細胞によりT細胞にかけられているブレーキを外すことにより、T細胞の攻撃力を高め、がん細胞を叩きます。（図）



参考：投与患者向け冊子「がん免疫療法のお薬「オプジーボ」について」

●免疫チェックポイント阻害薬の効き方には個人差

免疫チェックポイント阻害薬は、当初再発例に対し単独での保険承認でしたが、現在初発例への使用、他の抗がん薬や分子標的薬などとの併用が保険承認され、ほとんどのがん種で使われています。

しかし、進行度によっては手術や放射線療法などの局所療法が第一選択となります。また、保険承認されていても、すべての方に治療効果があるわけではありません。

●免疫チェックポイント阻害薬の副作用は全身多岐にわたる

免疫チェックポイント阻害薬は、従来のがん薬物療法に比べて副作用が軽いと思われがちです。しかし、免疫細胞が自分の体を誤って攻撃してしまうと、自己免疫疾患のような特殊な副作用（免疫関連有害事象）が起きてしまいます。これは全身のあらゆる組織、臓器に起こり、時として命にかかわる場合もあります。その発生時期は予測しづらく、薬剤を止めても持続する場合もあります。また、他の抗がん薬と併用する場合は、それによる副作用にも注意を払わねばなりません。この治療を受ける患者さんは、担当医と良く相談し、正しい知識を得た上で行ってください。

群馬県立がんセンター 院長 柳田 康弘

ゲノムとは遺伝情報全体という意味です。我々の体を構成する細胞の一つ一つの中には遺伝子が存在しています。遺伝子は4種類の核酸がファスナーのように並んでおり、通常は親から子へ同じ配列が伝わります。両親から情報を受け継ぎますので、同じ遺伝子が一対存在することになります。遺伝子はタンパク質を作る設計図なのですが、ヒトではおよそ2万種類あります。その中には細胞分裂を促進するものや抑える働きをするもの、遺伝子が傷ついた際に正確に修復するものなどが含まれています。がん細胞は正常な細胞の遺伝子に傷がつき、それが修復されないまま遺伝情報として蓄積された細胞といってよいでしょう。多くは自滅したり自分の免疫で攻撃されたりして消滅しますが、それらから免れて成長すると臨床的ながんになります。

それぞれの遺伝子異常から生じる異常なタンパク質の働きを押さえるのが分子標的薬です。抗がん剤とともにがん薬物療法と言われますが、遺伝子変異のあるがん細胞にだけ効くことが期待されています。分子標的薬は臓器毎に開発されてきた歴史がありますが、同じ臓器のがんでも遺伝子変異があるかないかによって効果が異なることから、逆に同じ遺伝子異常があるなら他の臓器のがんにも有効なのではないかと考えられるようになりました。臓器横断的な分子標的薬の開発を加速するために始まった医療が、がんゲノム医療です。

細胞をがんに変えている遺伝子変異やその可能性のある遺伝子変異の有無を、一度に100から400種類調べる検査のことをがん遺伝子パネル検査といいます。これから有効な薬の開発につなげたい遺伝子変異も含まれています。有効性が確認され、診療ガイドラインに示された抗がん剤治療を行ってきたが、そろそろ使える薬がなくなってきたとか、希ながんのため、もともと有効な抗がん剤が示されていないがんなどが、パネル検査の対象です。がん組織や血液からがんの遺伝子を抽出して検査を行います。

現在は遺伝子異常に応じてすべての分子標的薬が保険適応で利用できるわけではありませんが、標準治療がなくなった患者さんの10%~20%程度の方に、パネル

検査で保険適応薬や治験薬などが見つかっています。但し、治験や患者申し出療養制度などを受けるためには、国立がん研究センター中央病院等に通院していただかなければならない場合もあることをご承知ください。

ゲノム医療とは別に、コンパニオン診断という検査が行われています。いろいろな臓器に共通した遺伝子変異がありますが、これらに対応した分子標的薬が効きそうかそうでないかを診断する検査です。初回治療から使えるものと、再発してから使えるものとがありますので、治療経過に応じて提案されることがあると思います。非小細胞性肺がんではコンパニオン診断によって初回治療が分かれます。

がんの再発・転移

群馬県立がんセンター 院長 柳田 康弘

がんの再発とは、手術や放射線、抗がん剤でがんを消失させた後に、しばらくしてまた同じがんが出現してくることです。再発は大きく2つに分けられます。がんがあったもとの臓器やその周囲、その臓器のリンパ節にでてくることを局所再発、遠くのリンパ節や肺・肝臓や骨・脳など離れた臓器にがんが再発することを、遠隔再発（遠隔転移）と呼びます。

局所再発は、初回の治療（手術や放射治療・抗がん剤）で、がんが消失したように見えても、残っていたわずかながんが、次第に増えて大きくなり腫瘤となったものです。再切除や放射線治療が可能であれば、治癒を目指して治療を行います。切除が難しい場合、放射治療・抗がん剤の治療で、腫瘍の増大を遅らせることを目的とした治療となります。

遠隔再発（遠隔転移）は、初回の治療前に、すでにがん細胞ががんの塊から流れ出していたがん細胞が、大きくなってきたものと考えられます。初回治療の時、転移・再発が起こる可能性が高いと予想される場合には、目に見えない流れ出したがん細胞を消滅させるために、全身療法としての補助薬物療法（抗がん剤、分子標的薬、ホルモン療法など）が行われますが、遠隔再発（遠隔転移）は補助薬物療法で殺傷できなかったがん細胞です。残念ながら、現代の医学では治癒させることは困難であり、患者さんの症状の改善と延命を目的に、主に薬物療法で治療を行います。治療は、効果に加えて副作用を伴います。患者さんの生き方を治療選択に反映するために、医療者と患者さんのコミュニケーションがより重要となります。

がんの補完代替療法について

群馬大学医学部附属病院 緩和ケアセンター師長 角田 明美

●がんの補完代替療法とは

がんの治療法には、科学的根拠に基づく治療法として手術療法・薬物療法・放射線治療など標準的な治療法があります。補完代替療法とは、標準的ながんの治療法を補い、代わりに行う医療のことです。健康食品やサプリメント、鍼・灸、マッサージ療法、運動療法、心理療法と心身療法などが含まれます。

●補完代替療法の効果

がんの治療法として現段階で勧められるものはありません。がんの進行を遅らせたり、生存率を高める効果が証明されていないため、期待できるがん治療法とはみなされてはいない現状です。

●補完代替療法を受ける時の心構え

①補完代替療法を行う前に、必ず医師に相談しましょう。

☞現在の健康状態や受けている治療に影響を及ぼす可能性があります。

②天然物質、食品・食物＝安全ではありません。

☞補完代替療法は体に優しいというイメージを持つかもしれませんが、科学的根拠が明確でないため、必ずしも安全とは限りません。

③正しい情報収集とメリット・デメリットを十分に理解して、情報を見極めましょう。

☞インターネットには沢山の情報が氾濫しているため、補完代替療法の効果を過度に宣伝していないか、がんの治療法について信頼できる発言をしているかなど情報を見極めましょう。難しい時は、家族や主治医、がん相談支援センターの相談員に相談しましょう。

④補完代替療法を利用するか、しないかを冷静に慎重に判断しましょう。

☞自分にとって負担にならない、特にお金・時間・快適さなど、無理をしているところはないか、もう一度確認しましょう。

●ポイント

がんの補完代替療法を始める前に、医師をはじめとする医療者や家族の方と十分なコミュニケーションを図りましょう。がん相談支援センターを活用することも一つです。

引用・参考文献

- がんの補完代替療法クリニカル・エビデンス(2016年版):編集 特定非営利活動法人日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン委員会,金原出版株式会社,2016.
- がんの補完代替医療ガイドライン(第1版):
https://www.jspm.ne.jp/files/guideline/cam_pdf/cam01.pdf
- もしも、がんが再発したら【患者必携】本人と家族に伝えたいこと:
編著:国立がん研究センターがん対策情報センター,英治出版株式会社,2020.
https://ganjoho.jp/public/qa_links/book/public/saihatsu.html
- 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所「健康食品」の安全性・有効性情報:
<https://hfnet.nibiohn.go.jp/>
- 厚生労働省『「統合医療」に係る情報発信等推進事業』厚生労働省eJIM(イージム:「統合医療」情報発信サイト):<https://www.ejim.ncgg.go.jp>

『がんの補完代替医療ガイドブック』第3版(2012年)
(厚生労働省がん研究助成金:がんの代替療法の科学的
検証と臨床応用に関する研究班)のホームページからダ
ウンロードできます。

[https://shikoku-cc.hosp.go.jp/
cam/dl/pdf/cam_guide\(3rd\)
20120220_forWeb.pdf](https://shikoku-cc.hosp.go.jp/cam/dl/pdf/cam_guide(3rd)20120220_forWeb.pdf)



がん治療と歯科治療について

群馬県立がんセンター 歯科口腔外科 名生 邦彦

口の中はがん治療により影響が出やすい場所の1つです。手術前に口の中が汚れていると、誤嚥性肺炎が起こりやすくなります。また、抗がん剤治療や頭頸部の放射線治療では口の中が乾いて、口内炎ができやすくなったり、免疫力が下がることで歯槽膿漏や歯の根の痛みが悪化することがあります。がんの骨転移に対する骨吸収抑制薬の治療を受けていると、あごの骨に炎症が生じることがあります(薬剤関連顎骨壊死)。口のトラブルは生活の質を下げ、がん治療を中断したり、中止したりする原因となります。

がんと診断されたら、できる限り早くかかりつけの歯科医院を受診し、がん治療開始前にお口の状態を整えておきましょう。がん治療中は歯磨きとうがいを欠かさず行いましょう。かかりつけ歯科医院がない場合は、がん治療連携歯科医院を受診することもできます。主治医の先生に相談してください。

群馬県がん治療に関わる医科・歯科連携登録医名簿

<https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/2533.html>



希少がんの相談窓口について

ここでは、国立がん研究センター希少がんセンターの相談窓口「希少がんホットライン」をご案内します。

●希少がんとは？

希少がんとは、年間発生数が人口10万人あたり6例未満の“まれ”ながんの総称で、その数は200種類にも及ぶとされ、患者さんや医療者にとっても情報が少ないのが現状です。骨の肉腫、軟部肉腫、脳腫瘍、眼腫瘍、中皮腫、神経内分泌腫瘍、小児がん、など200種類近い悪性腫瘍が希少がんに分類されます。

●希少がんホットラインとは？

「希少がんホットライン」とは、希少がん患者さんの情報不足を解消し、最適な診断・治療が受けられるように、患者さんやご家族、医療者のさまざまな問い合わせに対応する電話相談です。

●相談できる内容

希少がんについて迷っていること、不安などがあったら、「希少がんホットライン」にご相談ください。

「“まれ”ながんと言われた」「治療法がわからないと言われた」「病理診断が難しいと言われた」「大きな病院へ連絡したが、診療は行っていないと言われた」「“まれ”ながんを扱っている希少がんセンターへ行くように言われた」などのご質問に、医師以外のスタッフが説明可能な範囲でお答えします。ただし、個人の病状に関する診断や治療方法に関するご質問にはお答えできません。

●希少がんホットラインのご利用について

希少がんホットライン ☎:03-3543-5601

- 受付時間は平日9:00～16:00（土日祝日、年末年始を除く）。
- 相談は無料ですが、通話料がかかります。
- 電話がつかない場合は、少し時間をおいておかけ直してください。
- 相談内容の秘密は厳守します。
- 正確な情報を提供するためにお名前などの個人情報をお伺いすることがありますが、答えたくない場合はその旨をお知らせください。
- 医療者からのご相談にも応じています（医療者専用☎：03-3543-5602）。

セカンドオピニオン ～治療方針に悩んだら～

群馬大学医学部附属病院 元腫瘍センター長 塚本 憲史

●セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは診断や治療方針について、担当医以外の意見（「第2の意見」＝セカンドオピニオン）を聞いて参考にすることをいいます。担当医から診断、治療方針の説明を受けたがこれで良いのか悩んでいるとき、他の治療法がないか知りたい場合などに利用できます。

ただし、セカンドオピニオンは健康保険でカバーされず、自費診療になります。また、「セカンドオピニオン＝転院」ではありません。

●セカンドオピニオンの効果は？

担当医、他院医師との間で診断、治療方針に違いがないことがわかれば、納得して治療に臨めます。また、担当医から提示された治療法以外の情報を得ることもできます。

●セカンドオピニオンの受け方は？

- ①担当医や看護師にセカンドオピニオンを受けたいことを伝える。
（がん相談支援センターで相談することも可能です。）
- ②セカンドオピニオンを受けたい病院を自分で探して予約を取る。
- ③担当医に紹介状（診療情報提供書）、検査データ、画像データ（CD-ROM）を用意してもらう。
- ④予約した日時に必要な書類を持参し、セカンドオピニオン外来を受診する。
- ⑤担当医にセカンドオピニオンの結果を報告し、これからの治療について再度話し合う。（転院希望のある方は申し出ることも可能です）

●担当医との関係は？

担当医との信頼関係が壊れることはありません。セカンドオピニオンを受けるのは、患者さんの権利です。

ポイント! 担当医に遠慮する必要はありません。

セカンドオピニオンは、
患者さんが納得して治療を受けるための権利です。

7 「緩和ケア」 ～がんと診断された時から～

「緩和ケア」を知っていますか？

国立病院機構渋川医療センター 名誉院長 斎藤 龍生

緩和ケアとは、病気によって患者さんと家族の心と体におきる痛みやつらさを和らげ、生活の質を保つことです。緩和ケアというと、「終末期医療」という側面ばかりが強調されがちですが、病気の時期にかかわらず、「患者さんが何に苦しんでいるのか」に焦点を当て、その「苦しみ」を和らげるためのアプローチが緩和ケアです。

痛みやつらさを、一人で抱えこまないでください。痛みを取ることで、体を動かせるようになったり、睡眠や食事が充分に取れるようになったり、気持ちが前向きになり治療や療養生活に取り組む意欲が湧いてきます。

身体におきる痛みや不快感、心に抱える不安や悩みに、医師や看護師、薬剤師、医療心理士などの専門家が対応し、あなたが自分らしくいられるためのお手伝いをします。がん患者さんがどんな体の痛みや、心の不安を抱えているのかは、患者さんご自身から話していただかないと医療者には伝わりません。どんな痛みを感じているのか、いつからなのか、どこがどのようにとのくらい痛むのか、何に悩み、どんな不安を抱えているのかを遠慮せずに伝えてください。専門チームにより、実現可能な策を一緒に考えていきます。

緩和ケアは入院中でも、外来時でも、自宅療養中でも、受けることができます。

緩和ケアチーム・緩和ケア病棟

●緩和ケアチーム

がん診療連携拠点病院、群馬県がん診療連携推進病院では、「緩和ケアチーム」が、入院中の患者さんや外来の患者さんに「緩和ケア」を提供しています。緩和ケアチームは、身体の痛みを緩和する医師、精神的なつらさを緩和する医師、緩和ケアに関する専門の看護師、こころの専門家（精神腫瘍科医、精神科医、臨床心理士、心理療法士など）、薬剤師、栄養士、リハビリ

リの専門家（リハビリテーション医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など）、医療ソーシャルワーカー、ボランティアなど様々な職種の人達が、担当医や看護師と一緒にあって、あなたの悩みを一緒に考え、あなたが「こうありたいと思う自分」になれるように、手助けをしてくれます。（現在、治療中の医療機関に緩和ケアチームが活動しているかについては、各医療機関にお尋ねください。）

※がん診療連携拠点病院・群馬県がん診療連携推進病院については、10ページを参照。

●緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、がんの治癒を目指して積極的な治療を行うための病棟ではありません。身体の痛みを取り除き、心のケアを行いながら、患者さんが自分らしく生きることを支援するための病棟のことです。

現在かかっている病院に緩和ケア病棟がなくても、ご自身が希望すれば緩和ケア病棟に入院・転院することができます。（担当の医師等にお伝えください。）また、緩和ケア病棟に入院しても、体調が落ち着けば、退院して自宅で過ごすこともできます。県内の緩和ケア病棟については、次の表をご覧ください。

群馬県立がんセンター

太田市高林西町617-1

問い合わせ先

TEL 0276-38-0771(代表)

病床数

25床

メッセージ

当院の緩和ケア病棟は「貴方の尊厳を守り 貴方らしく過ごせるよう 私たちは最善を尽くします」を基本理念としています。患者さんが抱える体の痛みや心の苦しみをできる限り軽減し、自分らしい毎日を過ごすための支援を行っています。建物には県産木材をふんだんに使用し、木のぬくもりや土のにおいを感じられる病棟です。全室個室とするなど、落ち着いた環境づくりに配慮しています。

群馬県済生会前橋病院

前橋市上新田町564-1

問い合わせ先

TEL 027-252-6011(代表)

病床数

16床

メッセージ

体のつらさを和らげ、体や時間に余裕ができることを目的として、がんに伴っておこる様々な症状に対しての医療（緩和医療）を行っています。
静かにゆったりと患者さんご自身の気持ちをみつめながらお過ごしいただけるような環境を準備しております。

渋川医療センター

渋川市白井383

問い合わせ先

医療福祉相談室

TEL 0279-23-1010(代表)

病床数

25床

メッセージ

当院の緩和ケア病棟は、悪性腫瘍などの患者さん・ご家族の抱えるからだのつらい症状やこころやくらしの悩みを、できる限り和らげることをその目的としております。あなたらしい生活をおくることができるよう環境を整え、共に考えさせて頂ければと思っております。

伊勢崎市民病院

伊勢崎市連取本町12番地1

問い合わせ先

TEL 0270-25-5022(代表)

病床数

17床

メッセージ

悪性腫瘍（がんなど）の患者さんで、手術や化学療法・放射線療法など、がんに対する治療が終了された方、又は困難な方、治療を希望されない方が対象です。病気の進行に伴う体の痛みや心の辛さが大変な時には入院となります。また、症状が落ち着いている時は、緩和ケアの外来で経過をみていきます。病棟は、全室が個室対応であり、室内のトイレは2面開放で移動に配慮しています。

公立富岡総合病院

富岡市富岡2073-1

緩和ケアチーム

問い合わせ先

TEL 0274-63-2111(代表)

病床数

18床

メッセージ

- PCU（緩和ケア病棟）では、身体の苦痛を緩和するとともに心のケアも行い、患者様が自分らしく生きられるように支援しています。医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなどの多職種がチームを組んでケアにあたります。
- 入院だけでなく、退院後も継続的なケアが受けられるよう、地域との連携や電話相談も受けています。また、緊急時には24時間いつでも入院をお受けします。
- 病棟には、季節の花々が鑑賞できる庭園があり、病院という空間を忘れさせてくれる優しい雰囲気です。

医療法人社団 三思会 東邦病院

みどり市笠懸町阿左美1155番地

問い合わせ先

TEL 0277-76-6311(代表)

病床数

21床

メッセージ

大きな病気に罹れば、だれもが治療のことで頭がいっぱいになってしまいます。でも、その治療が終わった後は、どうすればいいのでしょうか？『あなたらしい生き方』などという言葉に耳にしますが、病気になる前とは体も状況も変わってしまったこれからの『あなたらしいさ』は、以前と同じではないでしょう。

東邦病院の緩和ケアは、あなたと一緒にあなたの『納得』を探します。人生には、望んでもかなわないこと、思い通りにならないことは確かにあります。あなたがどう生きるかは、あなた自身が『自由』に選ぶことが出来るのです。私たちはあなたの『自由』を最大限尊重します。あなたが自分の人生・今の過ごし方に『納得』できて、暖かな気持ちで日々を過ごすことが、私たちの願いです。これからの人生で大切にしたい何かを見つけ、それを大切にしながら丁寧に生きることをお手伝いします。



(写真) 群馬県立がんセンター



(写真) 公立富岡総合病院

家でよりよい日々を送りたい

緩和ケア診療所・いっぽ 小笠原 一夫
(群馬県在宅療養支援診療所連絡会顧問)

病院などの治療施設では日々治ることを目的とした医療行為が行われます。病院は「治して帰す」ための施設で大切な地域資源です。しかし現状は自然に衰弱してきたお年寄り、治療困難な病気を抱えた方、死期が迫ってきた方なども入院することが当たり前になっています。でもそれは本当に必要なことなのでしょうか？今「やはりこういう時期は住み慣れた自宅で過ごしたい」と願う人が増えています。

がん患者さんが「治療法がないのなら病院には行きたくない。家で暮らしたい。」「住み慣れた場所でよりよく生きたい。」と考えるのは当然の願いです。在宅療養を応援する制度も事業所スタッフもそのような願いに沿ってすいぶんと整えられてきています。「最期まで家で過ごすこと」それは決してわがままな願いではありません。

●ほとんどの人は最期まで普段に近い暮らしができます

ほとんどのがん患者さんは家で普通に近い暮らしができます。病院は治療の場ですからいろいろな制約があります。壁とカーテンに囲まれた限られた空間で同室の人や職員の方々に気を遣いながら点滴の瓶を眺めて日々を過ごすのはとてもつらいことです。特に高齢の方や認知機能が低下した方は精神的に不安定になったり見知らぬ環境での日々に混乱され思いがけない言動をしてしまうことも多々あります。家であれば誰への気兼ねもなく自由に過ごせます。好きなときに起き好きなときに寝て、好きなものを好きなだけ食べられます。慣れたトイレやお風呂を使えます。その他、自分で調理ができる・孫たちがしょっちゅう遊びに来る・夫婦で一緒に寝る・家族でいっぱい話をする、など。がんだからといってこんな当たり前のことを我慢する必要はありません。加齢や病気の進行でもう自由に動けなくなってしまった方でも自分の人生を彩るものや人に囲まれて過ごす、それだけで安心です。また、貴重な時間にご家族と大事な話をしなくてはならないこともあるでしょう。それも病院でははばかれることかもしれません。退院してから亡くなるまでの数週間に「親子でこんなにくっついてたくさん話しをしたのは初めてだ。」とおっしゃった方もいました。

●介護者にとっても家のほうが楽なことが多い

入院している患者の身内は大変です。お年寄りであれば、自宅と病室の往復だけでも大変ですし、ご自分の暮らしも大きな影響を受けます。また、具合の悪い家族を置いて夜帰宅するときの辛さはいかばかりでしょう。家ならいつも家族が身近にいます。ご自分も好きな時に横になったり食事をしたりできます。何より家は生活の場であり、治療の場ではありませんから医療者や同室者に遠慮したり、必要以上の緊張を強いられることはありません。

●最期の暮らしを支える医療と福祉があります

そうはいっても、そんな病人が家で過ごす、それを誰の助けもなく介護するのは不安がいっぱいだと思います。しかし、そういう家庭を支える医療と福祉がどんどん充実してきています。在宅療養中の患者さんご家族の一番の不安は「夜中に何かあったらどうしたらいいのか」という点ですが、今では365日24時間対応してくれる診療所や訪問看護ステーションが各地に設立されてきています。さらに、困難な病気を持って家で暮らすには医師や看護師以外にも各種の支援が必要となります。ケアマネジャー、薬剤師、ホームヘルパー、入浴サービス、理学療法士などです。こちらも各地域で、多職種の連携が作られつつあります。このようなサービスを上手に組み合わせると、お年寄りだけの世帯や独居の方でも最期まで家にいることができます。

●そのためにはどうしたらいいのでしょうか？

まず今かかっている病院の退院支援センターや、患者相談室、病診連携室を訪れて相談してください。担当の看護師さんに聞けば教えてくれると思います。そこで在宅サービスとの調整をしてくれます。地域でなら、各地域にある「安心センター」やかかりつけ医や近所の訪問看護ステーションなどに相談してもいいし、群馬県医師会内にある「在宅療養支援診療所連絡会」の事務局にも情報はあります。ぜひ悩まずに相談してください。

参考連絡先

- 群馬県在宅療養支援診療所連絡会事務局（群馬県医師会内）

電話番号 027-231-5311

- 群馬県訪問看護ステーション連絡協議会（群馬県医師会内）

電話番号 027-231-5311

がんピアサポーターからのメッセージ② 「治療法について」

群馬県がんピアサポーター 奥津 哲夫

2007年に食べたものが胸につかえる自覚症状があり病院に行きました。翌日胃カメラの検査を行い、その場で胃がんを告知されました。詳しい検査の結果、私のがんは根治が期待できるので手術を行うことになりました。がんがわかってから書店に行き、胃がんに関する書籍を買い集め、医師用のマニュアルの「胃ガン治療ガイドライン」も入手し、病気の性質と治療法について勉強しました。がんの治療はがんの進行度によって異なり、段階に応じた標準治療が定められています。がんの診断がついて、根治が期待できる段階であれば、ベストな治療法は標準治療になります。

私のがんは胃と食道の境目にあり、手術で胃を全部、食道を半分、脾臓と胆嚢を摘出しました。入院期間は2週間で、予定通りに回復しました。手術後は、補助化学療法を二年間行いました。当時、胃がんの再発・転移を抑制する画期的な抗がん剤が開発された頃で、主治医から薦められ、効果を期待して使いました。

しかし、手術の3年後に肺に小さな転移が見つかりました。この時点で遠隔他臓器に転移があるステージ4になりました。転移を手術で取り、次に抗がん剤による化学療法を行いました。この化学療法は標準治療ではなく、自分で文献を調べ、当時最も効果が期待できるものを主治医にお願いし行ったものです。

今、私はこの病気から逃げ切ることができ、サバイバーになりました。生き延びることができたのは、病気と治療法をよく勉強し、主治医と相談し、納得の上、ベストな治療を受けることができたためだと思っています。

第4章 退院後の生活

～病院と地元医療機関の連携・サポート制度～



前橋市
@fineupperfield

9 病院と地元の医療機関が連携しています

地域連携クリティカルパスについて

群馬大学医学部附属病院 元腫瘍センター長 塚本 憲史

群馬県のがん診療は、がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院を中心にしています。地元医療機関から紹介されたがん患者さんが十分な治療を受けるためには、がん診療連携拠点病院等での治療が終わり、状態が安定した患者さんに地元医療機関へ戻っていただく必要があります。その手段として「地域連携クリティカルパス」（診療計画書）があります。

● 地域連携クリティカルパスで患者さんの不安を解消

患者さんの中には、自分が受けた治療内容、経過が地元医療機関にきちんと伝わらないのではと不安を感じ、がん診療連携拠点病院等の外来に通い続ける方がいます。そのような方の不安を取り除く手段として、「地域連携クリティカルパス」があります。がん診療連携拠点病院等が、診察、検査スケジュールを記載した診療計画書を作成し、地元医療機関はその診療計画書に基づいて診療を行いますので、地元医療機関でも適切な医療を受けることができます。

● 群馬県の地域連携クリティカルパスは県内共通

群馬県では、胃がん、大腸がん、肺がん、肝がん、乳がん、前立腺がん、前立腺がん重粒子線治療の地域連携クリティカルパスを統一し、どの医療機関でも同じパスを使用しています。

● 連携する群馬県内のがん診療

地域連携クリティカルパス運用中は、地元医療機関受診中に症状の変化がみられた場合、ただちにがん診療連携拠点病院に紹介してもらえます。

地域連携クリティカルパスの対象者は、主にがん根治手術などで症状が安定している方です。患者さんから同意を得た上で、診療計画書を作成します。退院後は、6ヶ月毎、あるいは1年毎にがん診療連携拠点病院等で診察とCTなどの検査を行い、それ以外は地元医療機関で診察・投薬や療養指導などを行います。

パスを有効活用することで、がん治療の満足度を上げることにつながります。地域連携クリティカルパスに、ご理解とご協力をお願いいたします。

がん患者さんの在宅療養を支える病院・診療所一覧（令和6年12月調査）

県内で、がん患者さんの在宅療養を支えている病院や診療所です。利用される際は、あらかじめ各医療機関の窓口にご確認ください。

参考情報

群馬県がん対策のホームページでも、がんの在宅療法を支援する「病院・診療所」「薬局」「訪問看護事業所」「歯科診療所」の情報を掲載しています。

病 院 ・ 診 療 所 : <https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/2491.html>

薬 局 : <https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/2491.html>

訪問看護事業所 : <https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/2462.html>

歯 科 診 療 所 : <https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/2533.html>

○この一覧以外にも、がん患者さんへの在宅医療を行っている医療機関はあります。

○病院一覧

NO.	市町村	病院・診療所名	所在地	電話番号
1	高 崎 市	医療法人松沢会 希望館病院	江木町 1120	027-322-4067
2	高 崎 市	高崎中央病院	高関町 498-1	027-323-2753
3	高 崎 市	真木病院	筑縄町 71-1	027-361-8411
4	高 崎 市	黒沢病院	矢中町 187	027-352-1166
5	桐 生 市	岩下会岩下病院	本町 4-320	0277-22-0151
6	伊勢崎市	社会医療法人鶴谷会 鶴谷病院	境百々 421	0270-74-0670
7	沼 田 市	内田病院	久屋原町 345-1	0278-23-1231
8	館 林 市	館林記念病院	台宿町 7-18	0276-72-3155
9	渋 川 市	北毛病院	有馬 237-1	0279-24-1234
10	富 岡 市	公立富岡総合病院	富岡 2073-1	0274-63-2111
11	富 岡 市	公立七日市病院	七日市 643	0274-62-5100
12	安 中 市	公益財団法人群馬慈恵会 松井田病院	松井田町新堀 1300-1	027-393-1301
13	中之条町	吾妻さくら病院	伊勢町 782-1	0279-75-3011
14	東吾妻町	原町赤十字病院	大字原町 698	0279-68-2711
15	川 場 村	群馬パース病院	生品 1861	0278-52-2141
16	みなかみ町	医療法人パテラ会 月夜野病院	真庭 316	0278-62-2011

○診療所一覧

NO.	市町村	病院・診療所名	所在地	電話番号
1	前橋市	小林内科・胃腸科クリニック	朝倉町 930-3	027-290-3200
2	前橋市	関内科医院	天川大島町 1-7-12	027-224-4680
3	前橋市	江木町クリニック	江木町 98-5	027-263-1101
4	前橋市	豊田内科医院	上小出町 1-30-1	027-234-1223
5	前橋市	前橋プライマリ泌尿器科内科	上佐鳥町 51-3	090-1542-5653
6	前橋市	医療法人木暮医院	清野町 104-1	027-251-9101
7	前橋市	はしづめ診療所	公田町 515-1	027-226-1806
8	前橋市	前橋東クリニック	下大屋町 558-9	027-268-2260
9	前橋市	伊藤内科医院	下小出町 2-49-16	027-232-0537
10	前橋市	前橋協立診療所	城東町 3 丁目 15-28	027-231-6060
11	前橋市	医療法人新井胃腸科診療所	昭和町 1-16-10	027-231-2083
12	前橋市	大学橋ファミリークリニック	関根町 2-21-9	027-212-6627
13	前橋市	緩和ケア 萬田診療所	総社町総社 1070-1	027-289-6655
14	前橋市	すぐた医院 ゆう子キッズクリニック	光が丘町 10-6	027-251-5622
15	前橋市	青山医院	古市町 350	027-251-2861
16	前橋市	下田内科医院	南町 3-64-13	027-221-3155
17	前橋市	守生会 小野内科クリニック	川原町 2-22-4	027-212-8852
18	前橋市	大山クリニック	山王町 2-20-16	027-266-5410
19	前橋市	長崎医院	住吉町 2 丁目 22-9	027-231-3274
20	前橋市	清宮医院	紅雲町 2-12-10	027-221-6518
21	前橋市	医療法人富士たちばなクリニック	日輪寺町 342-2	027-230-1155
22	前橋市	医療法人あい友会 あい駒形クリニック	小屋原町 1698-1	027-226-1891
23	高崎市	こだまクリニック	石原町 3225	027-327-5566
24	高崎市	医療法人砂長胃腸科外科医院	稻荷台町 1305-1	027-373-2263
25	高崎市	なみえクリニック	上並榎町 417	027-362-5808
26	高崎市	緩和ケア診療所いっぽ	京目町 790	027-353-3353
27	高崎市	医療法人 清明会 善如寺医院	倉賀野町 453-19	027-346-2382
28	高崎市	医療法人 牧元医院	芝塚町 1845-2	027-322-3623

NO.	市町村	病院・診療所名	所在地	電話番号
29	高崎市	みなぐち医院	下里見町 268-1	027-340-3103
30	高崎市	医療法人聖穂会ふるしま医院	下里見町 1424	027-360-8100
31	高崎市	関口医院	新町 2273-7	0274-42-0251
32	高崎市	通町診療所	通町 143-2	027-322-6534
33	高崎市	問屋町クリニック	問屋町 1 丁目 8 番地 2	027-388-1032
34	高崎市	県央医科歯科クリニック	中泉町 610-2	027-372-1231
35	高崎市	ひだまり診療所	乗附町 1444-2	027-384-8113
36	高崎市	森田クリニック	浜川町 278-1	027-344-2030
37	高崎市	橘内科医院	宮元町 273	027-322-3133
38	高崎市	小川クリニック	矢中町 312-9	027-384-8000
39	高崎市	群馬八幡消化器内科クリニック	八幡町 1112-1	027-381-5505
40	高崎市	飯塚外科医院	吉井町吉井川 353	027-387-2711
41	高崎市	吉原クリニック	中泉町 649-1	027-360-6600
42	桐生市	たかのす診療所	川内町 2 丁目 289-1	0277-65-9229
43	桐生市	菊地医院	琴平町 2-47	0277-45-2883
44	桐生市	永田医院	末広町 4-8	0277-22-5122
45	桐生市	赤南診療所	新里町新川 50-4	0277-74-8344
46	桐生市	新宿医院	新宿 1-13-14	0277-44-5930
47	桐生市	雨宮内科医院	東 1 丁目 7 番 12	0277-44-7753
48	桐生市	まろ医院	本町 3-4-18	0277-44-6031
49	桐生市	三丸医院	宮本町 1-12-11	0277-22-3419
50	桐生市	北川内科クリニック	錦町 2-12-2	0277-44-7706
51	伊勢崎市	さとう内科クリニック	乾町 233-1	0270-61-8139
52	伊勢崎市	安堀太田町クリニック	安堀町 1904-5	0270-75-2911
53	伊勢崎市	美原診療所	大手町 1-1	0270-25-0112
54	伊勢崎市	山田内科クリニック	大手町 24-8	0270-23-6666
55	伊勢崎市	橘香堂田島医院	境東 97-1	0270-74-0068
56	伊勢崎市	都丸内科クリニック	富塚町 215-7	0270-75-1270

NO	市町村	病院・診療所名	所在地	電話番号
57	伊勢崎市	大井戸診療所	東小保方町 4008-1	0270-62-3333
58	伊勢崎市	豊受診療所	馬見塚町 860-1	0270-32-0450
59	太田市	医療法人あい友会 あい太田クリニック	浜町 59-3	0276-52-8857
60	太田市	太田協立診療所	石原町 927	0276-45-4911
61	太田市	たきざわ医院	新田赤堀町 434-25	0276-55-1010
62	太田市	くつなクリニック	由良町 886-1	0276-60-4475
63	太田市	医療法人 愛恵会 あいファミリクリニック太田	只上町 364-1	0276-55-0600
64	沼田市	沼田クリニック	栄町 61 番地 3	0278-22-1188
65	沼田市	利根中央診療所	西原新町 1864-2	0278-24-1202
66	館林市	県西在宅クリニック館林	東広内町 1118-1	0276-55-3818
67	渋川市	赤城開成クリニック	赤城町三原田 826-10	0279-20-6500
68	渋川市	有馬クリニック	有馬 1191-3	0279-24-8818
69	渋川市	井口医院	金井 1284-6	0279-25-1100
70	渋川市	塚越クリニック	渋川 3902-5	0279-60-7700
71	渋川市	医療法人社団皆成会 中野医院	渋川 893-33	0279-22-1219
72	藤岡市	秋山医院	小林 748-8	0274-22-8315
73	藤岡市	すぎやまメディカルクリニック	下大塚 180-11	0274-20-1666
74	藤岡市	田原内科クリニック	藤岡 694-1	0274-23-2552
75	藤岡市	栗原胃腸科外科医院	神田 144-1	0274-40-2299
76	富岡市	大竹外科胃腸科	田篠 947 番地	0274-64-0808
77	富岡市	細谷クリニック	富岡 1375	0274-62-4321
78	富岡市	小泉医院	富岡 891	0274-62-0039
79	安中市	みやぐち医院	原市 3875	027-384-1126
80	安中市	医療法人武井医院 武井内科循環器科	松井田町松井田 831-1	027-393-1005
81	榛東村	医療法人駿河会 榛東さいとう医院	新井 1182-2	0279-54-1055
82	神流町	中里診療所	神ヶ原 430-1	0274-57-2201

10 療養生活を送る上での困りごと

がんの治療を続けるには、時に思った以上のお金がかかることがあります。また、ご自身や家族だけで対応することが困難なこともおこります。そんな時に利用できる各種社会保障制度等を紹介します。

詳しくは、各制度の問い合わせ先にお問い合わせください。がん相談支援センターでも相談できます。

お金のサポート制度

所得税からの医療費控除

1年間(1月1日～12月31日)に支払った医療費が高額になった場合、確定申告をすることで医療費控除が受けられます。医療保険者が発行する医療費通知(医療費の額等を通知する書類)がある場合は、医療費通知を添付することによって医療費控除の明細書の記載を簡略化することができます。

ただし、医療費通知が手元にない場合は、医療費の領収書の提示又は提出が求められる場合がありますのでご注意ください。

所得のある方が自分と生活を一にする家族の医療費を支払っていた場合には、家族の受けた医療に係る領収書も医療費控除の対象になります。

医療保険者から発行される医療費通知については、大切に保管しておきましょう。

利用できる人 所得のある方で自分や自分と生活を一にする
年間10万円※ 以上支払った方

※正確な医療費控除の対象となる金額は、次の式で計算した金額です
(最高で 200 万円)。

実際に支払った医療費の合計額 - 保険金などで補てんされる金額 - 10万円
(その年の総所得金額等が200万円未満の人は、総所得金額等の5%の金額)

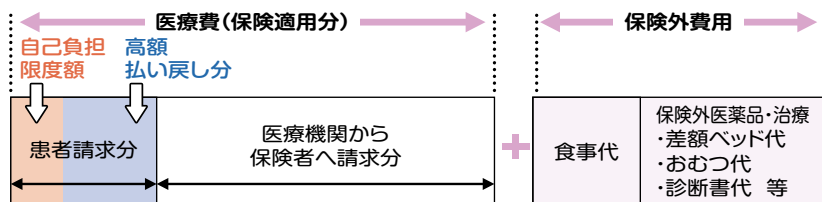
利用方法 所轄税務署に確定申告をします。

高額療養費制度、限度額適用認定証

高額療養費制度は、治療費用が高額になる場合に、一定の限度額以上の医療費が支払った後に戻る制度です。限度額適用認定証を事前に申請することで支払時に限度額までの費用負担で済みます。

利用できる人 月に支払う医療費（保険適用分）が高額な方

1か月に支払った医療費が自己負担限度額を超えた場合に利用できます。自己負担限度額は、年齢や所得によって異なります。



詳しくは、がん相談支援センター（14～31ページ）や以下の問い合わせ先にご確認ください。

利用方法 加入している保険者に申請します。

詳しくは、保険証に記載された連絡先にお問い合わせください。

問い合わせ先

- 国民健康保険……………市役所、町村役場の国民健康保険課 など
- 後期高齢者医療保険……………市役所、町村役場
- 協会けんぽ（社会保険） ……全国健康保険協会都道府県支部、
職場の保険担当
- 健康保険組合……………職場の保険担当
- 各種共済組合……………職場の保険担当

高額医療・高額介護合算療養費制度

1年間(8月1日～翌7月31日)に支払った医療費と介護サービスの負担額が高額になった場合の負担を減らすために、支払う金額に上限額(基準額)を定めた制度です。例えば、夫が医療サービス、妻が介護サービスを受け、それぞれの負担の合計が基準額を超えるといった場合に利用できます。上限となる基準額は世帯員の年齢構成や所得区分により違います。

利用できる人 医療保険と介護保険の両方を利用している方

利用方法 加入している保険者に申請します。

詳しくは、P.69「高額療養費制度、限度額適用認定証」問い合わせ先にお問い合わせください。

傷病手当金

がんの治療などによって、働けなくなった患者さんとその家族を支えるための制度です。勤務できない期間に手当金(1日あたり給与日額の約3分の2の額)が、最長1年6ヶ月支給される制度です。

利用できる人 療養のため仕事を休んだ期間に
給与が支払われない方

利用方法 加入している保険者に申請します。

詳しくは、保険証に記載された連絡先にお問い合わせください。(国民健康保険では実施していないところもあります。市町村にお問い合わせください。)

生活のサポート制度

生活保護制度

病気で仕事ができなくなった、収入が少なくなった等で生活費に困り、生活していく事ができない、またはできなくなりそうな時、最低限度の生活を保障し、生活できるように援助することを目的とした制度です。

利用できる人 資産の活用や働く能力、扶養義務者からの援助や他の制度等を活用してもなお生活が困難になってしまった方

利用方法

生活保護の窓口に申請します。

問い合わせ先

町村にお住まいの場合：町村の生活保護担当課、県保健福祉事務所
市にお住まいの場合：市福祉事務所（市役所の中にあります。）
なお、相談は地域の民生委員でも行っています。

障害年金

病気やけがなどで重度の障害が残った65歳未満の方が受け取ることのできる年金制度です。厚生年金や共済年金については、障害の程度によっては、一時金が支給される場合もあります。

利用できる人

がんなどの病気によって、人工肛門の造設や咽頭部摘出を受けた方、日常生活や仕事に著しい制限を受ける方など。

利用方法

加入している年金の窓口に請求します。

問い合わせ先

国民年金：市町村の国民年金の窓口
厚生年金：年金事務所
共済年金：共済組合事務局

身体障害者手帳による税の控除・医療費助成など

様々な福祉制度や、障害の程度によっては税の控除等が受けられる場合があります。

利用できる人

がんなどの病気によって、人工肛門の造設や咽頭部摘出を受けた方、日常生活や仕事に著しい制限を受ける状態となった方など。

利用方法

市町村の窓口 to 申請します。

問い合わせ先

市町村の障害者福祉担当の窓口

介護保険

介護保険は、40歳以上の方が加入している保険制度で、介護が必要となった際に、様々なサービスを受けることができます。所得に応じて費用の1割、2割又は3割が自己負担となります。

利用できるサービス

- 福祉用具（電動ベッド、シャワーチェア等）のレンタル、購入費用支給
- 住宅改修費の支給
- 訪問介護、訪問入浴、訪問リハビリテーション等の介護サービスなどが受けられます。

利用できる人 介護が必要になった65歳以上の方、
がんの症状が申請条件に該当する方で、
介護が必要な40歳以上の方

利用方法 市町村に申請し、介護認定を受けます。

問い合わせ先

- 各市町村の介護保険の窓口
- 地域包括支援センター
- 居宅介護支援事業者

参考情報

民間のがん保険や住宅ローンなど

民間のがん保険によっては、在宅療養に対し給付金が出るものもあります。また、住宅ローンの支払いがある場合、疾患名や介護状態によって支払いが軽減または免除されることがありますので、確認してみましょう。

問い合わせ先

加入している生命保険会社、住宅ローン借入先の銀行

住み慣れた地域で暮らすための支援機関「地域包括支援センター」

高齢者の総合的な相談窓口として、各市町村に「地域包括支援センター」が設置されています。高齢者やその家族の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、介護・保健・医療・福祉などの悩みを、関係機関と連携しながら解決します。がんに関する相談も、ご利用ください。

地域包括支援センター：<https://www.pref.gunma.jp/page/2233.html>

若年がん患者在宅療養支援事業

【がん患者在宅療養に関する公的支援の現状】

		0～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳～
医療保険サービス		訪問診療、訪問看護等			
介護保険サービス	居宅サービス	公的支援制度なし 小児慢性特定疾病 日常生活用具給付		介護保険制度 ・原則65歳以上 ・40～64歳：末期がん	
	福祉用具貸与・購入				
障害福祉サービス		状態により居宅介護サービス利用可能			



だいすきなうちであなたらしく

事業内容：若年がん患者が、住み慣れた自宅等で自分らしく過ごせるよう、患者・家族の負担軽減を図る

利用できる人 以下のすべての要件に該当する方

- (1)事業実施市町村内に住所を有する方。
- (2)対象サービス利用時に、**39歳以下**のがん患者（医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと判断した方）であること。
ただし、利用者が、40歳に達する日の前日まで。
- (3)他の公的支援制度を受給していないこと。

事業実施市町村については、
県ホームページをご覧ください



◎対象要件・対象サービスは、
実施市町村により異なる場合があります。

利用方法

- ・事業実施市町村に申請します。
- ・費用負担：利用者10%、市町村45%、県45%

利用できるサービスと上限額

対象サービス	0～19歳	20～39歳
訪問介護 (身体介護・生活援助・通院等乗降介助) 訪問入浴介護	50,000円／月	80,000円／月
福祉用具貸与	※〔小児慢性特定疾病〕 〔日常生活用具給付〕	50,000円
福祉用具購入		
介護支援専門員による 事業所の紹介・調整等に係る費用	10,000円／月	

※0～19歳で、他の公的支援制度を受給していない場合は、20～39歳の欄に掲げるサービスを受給可能

第5章 支え合える仲間 ～患者団体とがんサロン～



みどり市
@masumi.o813

11 支え合える仲間

がん患者さんが抱える不安や悩みの解消には、がんにかかった人の経験が役に立ちます。

県内では、がんにかかった方同士の支え合いの場として、地域や病院に「がん患者団体」や「がんサロン」があります。また、がん診療連携拠点病院などで「群馬県がんピアサポーター」が活動しています。

がん患者団体 ～仲間に会おう～

がんにかかった患者さんが主体となって結成し、情報交換や勉強会、交流会、ボランティア活動等を通じ、がん患者さんやその家族、遺族の方の不安を解消することやつらさや悩みをわかちあう活動を行っています。

●群馬県がん患者団体連絡協議会

会 の 名 称	群馬県がん患者団体連絡協議会			
対 象 疾 患 等	がん全般			
問い合わせ先	群馬県健康づくり財団企画広報課 TEL：027-269-7811 FAX：027-269-8928 ホームページ https://www.gunma-hf.jp/gan-kyougi/			
会 員 数	15団体	会 費 等	入会金：なし 年会費：2,000円	
会からのメッセージ 平成19年3月に発足した県内のがん患者会・支援団体の集まりで、今では15の団体が参加しています。がん患者が孤独にならないように必要な情報提供と情報交換を行い、互いに交流を深め、群馬県のがん予防と早期発見の推進、医療、ケアの向上に向けた活動や提案を行うため、力を合わせています。				

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。



●群馬県がん患者団体連絡協議会に参加している団体紹介

会 名 称	あおばの会		
対 象 疾 患 等	血液がん		
サロン開催場所・日程	群馬大学医学部附属病院 南棟 1階 憩いの広場「尾瀬」内のピアノ付近 偶数月（2月・4月・6月・10月・12月）※8月はお休み 第2土曜日13：30～ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を当面の間中止させていただきます。		
問い合わせ先	相川政雄（電話はなるべく土日をお願いします。） 電話：090-8805-1295 メールアドレス：aobanokai2007@gmail.com		
会 員 数	6名	会 費 等	入会金・年会費なし
主な活動内容 血液がん患者や家族が抱える不安や悩みについて自由に語り合い、情報交換や親睦を深める。			
会員からのメッセージ ●入院中や外来通院中はなかなか同じ病気の人と話す機会がなく病気や治療に関する悩みや不安を抱えても話す場がないものです。こんな時、あおばの会へ出席して、同じ病気を抱える人や実際の体験談を聞くことができ悩みや不安が少し軽くなりました。 ●あおばの会に参加して、日常生活での前向きな考え方や、食生活の大切さを学びました。			

会 名 称	みゅらりっぷ			
対 象 疾 患 等	子宮・卵巣がん			
サロン開催場所・日程	群馬県太田駅なか文化館 定例患者会を毎月第2水曜日9時30分から12時			
問い合わせ先	三武 美紀 TEL：090-4208-6424 メールアドレス info@myuralip.com ホームページ http://myuralip.com/			
会 員 数	スタッフ5名（会員制ではありません）	会 費 等	お茶代：500円	
主な活動内容 活動内容は、1部は[わかちあいの時間]で「言いつばなし、聞きつばなし」にその人が話したいことを話します。辛かったこと、嬉しかったこと、自分もそうだったと思いをわかちあいます。2部の[お茶会の時間]は、お茶とお菓子を食べながらおしゃべりをします。				
会員からのメッセージ 当会を立ち上げて今年で13年目になります。患者会に参加された方達が、居心地良く話したいことを話せる雰囲気の中で、自分を見つめるお手伝いをさせていただいています。会員制ではありませんので、1回のみ参加やご家族（女性）のみの参加も可能です。お気軽にご連絡してください。				

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	女性がん患者会ばるれ			
対 象 疾 患 等	がん全般			
サロン開催場所・日程	高崎総合福祉センター 毎月第1日曜日 13：30～			
問い合わせ先	松井 葉子 TEL：090-3470-5783 メールアドレス palure.info@gmail.com ホームページ(ブログ) https://ameblo.jp/parler2016/			
会 員 数	スタッフ2名	会 費 等	参加費：500円	
主な活動内容 2018年からスタートした女性がん患者会です。子宮、卵巣、乳房、胃、大腸、血液などがん種を問わずに参加していただけます。今まで、20～80歳代の様々な年齢の女性に参加してくださいました。がんの悩みや不安をおしゃべりできる友人の家というような和やかな雰囲気で行っています。 ※会員制ではありません。参加したい時に来ていただけます。				
会員からのメッセージ がんを告知され、治療と生活を行う中で、辛さを誰にも言えずに悩んでいる方も多くいます。女性同士安心して病気、生活、家族、結婚、子ども、仕事、今後の人生のことなどお話に来ませんか？				

会 の 名 称	群鈴会		
対 象 疾 患 等	喉頭がん、咽頭がん		
サロン開催場所・日程	・ 新前橋教室：群馬県社会福祉総合センター (第1・2・3土曜日 13：00～15：00) ・ 高崎教室：ハーモニー高崎ケアセンター (第1・2・3火曜日 13：00～15：00) ・ 太田教室：群馬県立がんセンター (第1・2・3水曜日 12：00～14：00)		
問い合わせ先	齋藤 久嘉 TEL：0274-22-1552 FAX：0274-22-1552		
会 員 数	60名程度	会 費 等	入会金：5,000円 年会費：3,000円 教材費：2,300円
主な活動内容 喉頭がん患者を中心に作られた会で、食道発声の訓練や生活上のアドバイス、交流会、研修旅行などを行っています。(全員ががんで声帯を失い、1度は声を失っております。)訓練によって声を取り戻そうではありませんか。			
会員からのメッセージ 楽しい教室です。新前橋、高崎教室、太田教室県内3カ所で行っています。がんで声帯を失った人のグループです。			

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	ぴあサポぐんま			
対 象 疾 患 等	がん全般			
主な活動場所	高崎市総合福祉センター3階ボランティアルーム			
問い合わせ先	事務局 TEL：080-6817-7234 メールアドレス piasapo.gunma@gmail.com ホームページ http://piasapo.gunma.jp/			
会 員 数	約40名	会費等	入会金：なし 年会費：2,000円	

主な活動内容

県内数か所で「地域がんサロンぐんま」を運営し、がん患者・家族の相談支援活動を行っています。また、スキルアップ研修の他、正しいがん情報を届ける活動として、がん専門家による医療講演会（公開講座）を開催しています。会員は、群馬県がんピアサポーター養成研修会修了者（がん患者・経験者・がん患者の家族）の有志及び支援者によって構成され、顧問として複数の医師がいます。主ながん診療連携拠点病院の相談支援センターと連携を図っています。

会員からのメッセージ

地域がんサロンでがん患者・家族に寄り添う活動は、自分のがん体験がピアサポーターとして活かされる場です。スキルアップ研修会は専門家による正しい医療情報が得られ、ピアサポーターとしても向上ができ、会員同士の交流の場としても楽しい時間となっています。

地域がんサロンぐんま 対象疾患：がん全般

【開催場所・日程】 自由参加／参加費無料

高崎：毎月第3日曜日 13:00～15:00 高崎市総合福祉センター3階ボランティアルーム
前橋：毎月第4日曜日 13:30～15:30 県立図書館研究室
太田：毎月第1日曜日 13:00～15:00 太田市福祉会館
新町：毎月第2火曜日 13:00～15:00 自遊空間「みちくさ」内
甘楽：毎月第2日曜日（休会中）



※初めて参加される方は、事前に事務局にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

事務局 TEL：080-6817-7234 メールアドレス piasapo.gunma@gmail.com
ホームページ http://piasapo.gunma.jp/

【主な活動内容】

群馬県がんピアサポーター（ピア＝仲間）と支援者が、がんに関する悩み・不安・心配事などについて、患者さんやご家族の心に寄り添う活動をしています。

【会員からのメッセージ】

がん情報は簡単に得られる時代になりましたが、サロンのように顔を合わせてお話をすると、人と人の温もりや優しさ・安心感が得られます。参加した方が笑顔で帰れるように、温かいおもてなし、傾聴する心、患者さんやご家族の心に寄り添うことを心掛けています。どうぞ気楽にご参加ください。

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	1.2の3で温泉に入る会ぐんま		
対 象 疾 患 等	乳がん		
問い合わせ先	武井 芳恵 TEL：027-352-0842 FAX：027-352-0842		
会 員 数	20名	会費等	入会金：なし 年会費：1,000円
主な活動内容 乳がん体験者は心に傷を受けている方が多く同じ想いでお互い寄り添って励まし合うことができれば、明るく前向きに治療を受けられる、生きていける、温泉も入れる【温泉も皆で入れば怖くない】が会の始まりです。 年に1～2回日帰りまたは1泊温泉交流会、新年会、食事会、会報発行（不定期）。			
会員からのメッセージ 温泉の大浴場でゆったりしたい、そう思っても手術の傷跡が気になってつい尻込みしてしまう。そんな時仲間がいると心強く安心して入浴できます。術後の服薬期間も長く気のめいる時がありますが、同じ病気の人達とおしゃべりすると元気が出てきます。一緒に治療を乗り切りましょう。			

会 の 名 称	群馬あかぎ互療会 (公益社団法人日本オストミー協会群馬県支部)		
対 象 疾 患 等	オストメイト（人工肛門、人工膀胱を造設した人）		
主な活動場所	県内各市に活動拠点を設けています。 (前橋、高崎、伊勢崎)		
問い合わせ先	大島 主好 TEL：027-285-4632 FAX：027-285-4632 TEL：090-2477-2516 メールアドレス mfwsy500@ybb.ne.jp		
会 員 数	約50名	会費等	入会金：1,000円 年会費：3,600円
主な活動内容 ●サロン開催場所・日程：群馬県社会福祉総合センター・原則：偶数月の第2日曜日の午後1時より3時30分 ●奇数月3日に本部会報と支部会報を発行します。5月に定期総会を開催します。6月に全国大会、3月に群馬ストーマ・排泄リハビリテーション研究会が開催されます。補装具メーカー及び販売店の展示説明会が同時に開催されます。サロン開催時に皮膚・排泄ケア認定看護師の派遣をお願いすることもあります。			
会員からのメッセージ オストメイトが安心して暮らせるよう①外出時、②災害時、③老後・介護時の不安解消の啓発活動をしています。			

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	笑 ^え みの会		
対 象 疾 患 等	乳がん その他		
主 な 活 動 場 所	高崎市		
問 い 合 わ せ 先	早川 尚代 TEL：027-384-2157 FAX：027-384-2157		
会 員 数	50名	会 費 等	入会金：なし 年会費：なし
主な活動内容 食事会、懇親会			
会員からのメッセージ 人生の質（QOL）を追求し、いつも笑顔で楽しい人生が送れるよう、笑顔があふれて楽しい会です。			

会 の 名 称	ぶ な 生 菜 の 会			
対 象 疾 患 等	がん全般			
問 い 合 わ せ 先	岡庭 和子 TEL：027-361-3568 FAX：027-361-3568 ホームページ http://bagumma.exblog.jp/			
会 員 数	20名	会 費 等	入会金：なし 年会費：2,000円	
主な活動内容				
●相談もかねた交流会 ●地域における他の団体との交流や活動への参加 ●電話にての相談窓口				
会員からのメッセージ				
がんと宣告されたその日から患者としての道のりが始まります。幾つかの階段を経て出会う治療や悩みを共有し合い、話し合っていく事で、自分にとって最良の道を選び取ろうと思う人達が生まれ、集う“場”になっています。西洋医学のみならず、東洋医学や可能な限りの治療法を共に考えていけたら…という主旨のもとに発足したがん患者と家族の会です。県内におけるがん関連の情報を収集し提供することや、病院、各種医療従事者の方々との交流を通じて連携してゆく事が、患者にとってのベストな環境づくりになると信じて、目標としております。				

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況を確認の上で利用をお願いします。

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 名 称	がんサロン桔梗		
対 象 疾 患 等	がん全般		
サロン開催場所・日程	桐生市昭和公民館 2F 談話室 毎月第3日曜日 13:30～15:30		
問い合わせ先	桑原 淳造 TEL : 0277-65-7444 FAX : 0277-65-7444 TEL : 090-9016-2484 メールアドレス juju.watarase1945@icloud.com		
会 員 数	4名	会費等	なし

主な活動内容

- 1 誰もが気軽に参加OK
- 2 参加費無料、予約不要、個人情報厳守
- 3 同じ体験をした仲間と、お互い顔を見て、声を聴いて話し合えるわかし合いの場所です。
- 4 サロンに参加し、情報交換することにより、不安や焦りを解消し、つらさや悩みをわかし合うことが出来る。

会員からのメッセージ

【参加者からのメッセージ】

- 初めての参加で心配あったが、私の症状・気持ちをていねいに聴いて頂き、不安が解消され、居心地良かったです。
- 正しい情報の入手や、病院の相談支援センターも詳しく説明され大変有意義でした。

会 の 名 称	ひまわりの会			
対 象 疾 患 等	がん全般			
主な活動場所	群馬県健康づくり財団内（前橋市堀之下町）			
問い合わせ先	公益財団法人群馬県健康づくり財団 企画広報課 ひまわりの会事務局 TEL：027-269-7820 FAX：027-269-8928 メールアドレス kikaku@gunma-hf.jp ホームページ https://www.gunma-hf.jp/public/himawari			
会 員 数	12名	会費等	入会金：なし 年会費：2,000円	

主な活動内容

- 年に一度の総会、不定期の定例会（茶話会）：会員同士何でも気楽に話すこと、相談することができる会です。
- その他、会報の作成、親睦旅行、新年会などで、会員同士の交流を深めています。
- 入会は随時受付しています。事務局へご連絡ください

会員からのメッセージ

ひまわりの会は、がんを患った人やその家族で構成されています。同じ体験をした者同士で、気兼ねなく何でも話し、励まし合っています。定例会では、気になる事があった時には医師や保健師に気軽に相談できます。会の活動への参加はどれも自由ですので、体調に合わせて参加できます。

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	あけぼの群馬			
対 象 疾 患 等	乳がん			
主な活動場所	ぐんま男女共同参画センター 群馬県社会福祉総合センター 高崎市総合福祉センター 毎月第2日曜日13:30~15:30			
問い合わせ先	武藤 茂美 TEL：090-3098-2069 FAX：027-326-7594 メールアドレス akebonogunma2024@gmail.com ホームページ http://www.akebono-net.org/ (あけぼの会本部)			
会 員 数	60名	会 費 等	入会金：なし 年会費：2,000円	
主な活動内容 ●会報「あけぼの群馬便り」発行 ●講演会、医療相談会、勉強会の開催 ●親睦会の開催 新年会、温泉旅行 ●群馬県がん患者団体連絡協議会活動参加 ●あけぼのハウス開催…乳がん体験者による 少人数の集い。どなたでも参加できます。 第2日曜日13：30～15：30				
会員からのメッセージ 同じ体験をした仲間と、お互いの顔を見て、声を聞いて話し合える暖かい乳がん患者会です。なかなか会えない会員への群馬の乳がん情報や、会員からのホッとできるお便りなどを載せた形式ばらない会報も発行しています。乳がんになっても決して一人ではありません。勇気を出してご参加ください。そして、入会してあなたの力をお貸しください。希望の扉と一緒に開きましょう。				

会 の 名 称	群馬がん看護研究会			
対 象 疾 患 等	がん全般			
主な活動場所	群馬大学大学院保健学研究科			
問い合わせ先	群馬大学大学院保健学研究科内 群馬がん看護研究会事務局 TEL：027-220-8983 FAX：027-220-8983 メールアドレス gons2004@gmail.com ホームページ https://sites.google.com/view/gons2004/			
会 員 数	約150名	会 費 等	入会金：1,000円 年会費：3,000円	
主な活動内容 ●学術集会：群馬がん看護フォーラム 1回/年（6月頃） ●スキルアップセミナー 1回/年（10月頃） ●教育委員会主催研修会 1回/年（1月頃） ●リレーフォーライフジャパンぐんまへの参加 ほか				
会員からのメッセージ 本研究会は、がん看護に関する研究、教育及び実践の発展と向上に努め、社会福祉に寄与することを目的としています。会員は、看護職のみならず広く医療職、がん体験者・ご家族、一般市民等から構成されています。群馬県のがん看護の発展のために、皆様と交流を深め、がん看護について共に考えていきましょう。				

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	群大重粒子線医学センター「友の会」		
対 象 疾 患 等	重粒子線治療患者		
主な活動場所	群馬県及び全国		
問い合わせ先	佐伯 詔一 TEL：027-251-7395（上毛資源：担当・倉澤） メールアドレス（担当者） j1067@j-shigen.co.jp		
会 員 数	約40名	会費等	年会費：3,000円
主な活動内容 ●年次総会開催 ●県民の日に合わせて行われる施設開放日に協力 ●健康保険適用国会請願活動 ●年三回程度情報誌発行			
会員からのメッセージ ●患者同士現状の病状などの交換（何の義務も発生しない気楽な病気仲間という感じ）			

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。



●病院が事務局となり活動している患者団体

会 名 称	ききょう友の会		
対 象 疾 患 等	ストーマを増設した患者さま（がん患者に限定していません）		
主な活動場所	沼田市内		
問い合わせ先	利根中央病院外科外来 TEL：0278-22-4321（代表）		
会 員 数	10名	会費等	入会金：1,000円 ※参加費が必要な場合あり
主な活動内容 ストーマを保有された方の自立を目指すことと会員の交流と親睦を目的とした会で、活動は年2回です。 春：総会で会計報告と行事計画、簡単な勉強会 秋：会員の要望を聞いての食事会や宿泊親睦会			

会 名 称	卵の花会		
対 象 疾 患 等	乳がん		
主な活動場所	原町赤十字病院		
問い合わせ先	原町赤十字病院 乳がんを担当する看護師、または、がん相談支援センター TEL：0279-68-2711 FAX：0279-68-2529		
会 員 数	約20名	会費等	年会費：1,000円
主な活動内容 交流を通じて、主に「会員同士の親睦」、「ピアサポート体制の確立」、「一般の方々への啓発」などを目的に活動しています。おしゃべりの中から、親睦を深め、ともに支え合う仲間づくり、そして、地域への貢献を目指しています。「リレー・フォー・ライフ」「がん市民セミナー」への参加や、乳がん患者さんに向けた「小冊子」「かわら版」づくりなども行っています。また、がんサロンや患者相談を通じたピアサポートの体制作りを考えております。			
会員からのメッセージ 平成26年から原町赤十字病院の患者会として結成されました。卵の花は決して華やかな花ではありませんが、ごく身近な場所に咲く可憐な花です。自分自身や家族を見つめ直し、新たな世界に踏み出す時、卵の花を「心持ち」の象徴にして、活動を続けています。私たち『卵の花会』では、ともに励まし合う会員を募集しています。原町赤十字病院の患者さまに関わらず、ご参加いただけます。			

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 の 名 称	なすなの会		
対 象 疾 患 等	乳がん		
主 な 活 動 場 所	前橋赤十字病院 2階患者図書室 第1金曜日 13:30～15:30		
問 い 合 わ せ 先	熊井佐和子 TEL：090-1887-3527		
会 員 数	20名	会 費 等	入会金：1,000円 年会費：2,000円
主な活動内容 当院の患者さんに限らずご利用いただけます。時には院外での交流会も企画しています。 アットホームな雰囲気の中で自由に語らいをしています。			

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

●その他の患者団体

会 の 名 称	ウーマン・キャンサー・ネットワーク・ぐんま (女性のがん患者のためのサロン)	
対 象 疾 患 等	がん全般 【乳がん・大腸がん・卵巣・子宮がん・肺がん・血液がん・その他】	
サロン開催場所・日程	高崎市総合福祉センター ボランティアルーム1・2 奇数月の第2土曜日14時～16時 オンラインサロンもあります。(開催日等については電話・メールでお問合せください。)	
問 い 合 わ せ 先	安井 TEL：090-4207-3704 メールアドレス wcn.gunma@gmail.com ホームページ https://wcn-gunma.org ブログ https://wcn.muragon.com/	
会 費 等	なし (自由参加)	

主な活動内容

「ウーマン・キャンサー・ネットワーク・ぐんま」は、がんに悩む女性のためのサロンです。
がんを体験した女性患者で運営しています。がん告知されたけど相談する相手がいない、同じがん種の人と話がしたい、治療と仕事の両立、家族との関係、再発への不安…孤独の中にある女性患者の皆さん、繋がってみませんか。話してみませんか。

- メールや電話でのご相談も受け付けています。
- 治療中でも自宅からオンライン参加もできます。

参加者からのメッセージ

- 「うんうん、そうそう」同じ辛いがん体験をした仲間だからこそ分かり合えるサロンです。
毎回、帰りには元気になっている自分がいます。
- 皆さんの温かい言葉と笑顔があふれ、2か月に一度のサロンが待ち遠しいです。

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 名 称	乳房再建のネットワーク「シャロン前橋」	
対 象 疾 患 等	乳がん	
サロン開催場所・日程	群馬県立図書館三階研究室（前橋日吉町1-9-1） 偶数月 第2土曜日 15時から定期開催	
問い合わせ先	篠原 敦子 TEL：090-6023-7026 メールアドレス hdnfn138@yahoo.co.jp ホームページ http://charonm.starfree.jp/	

主な活動内容

乳がん告知を受け、全摘か、温存か、同時再建かで迷っている、また再建手術の出来映えに満足出来ず、途方に暮れている患者さん、。がん闘病は思いを共有する仲間を持つこと、最新の情報をキャッチするネットワークが大きな力になります。「サロン」なので拘束はありません。参加は女性限定です。

会員からのメッセージ

講演会や他の患者会への紹介、連携が充実していて、視野が広がりました。乳がんに罹ると女性としての将来、仕事、家族など、多岐に渡って乗り越えてゆくハードルが見えてきます。経験者に助けられ、今後も「病気」と共存し、成長してゆきたいです。

会 名 称	一般社団法人がん哲学外来認定カフェ 「がん哲学外来なごみカフェ」		
対 象 疾 患 等	がん全般		
サロン開催場所・日程	伊勢崎市民病院本館2F 患者サロン「オアシス」 毎月第4火曜日 14:00～15:30		
問い合わせ先	塚本 恵美子 TEL：090-1883-1119 FAX：0270-62-9951 メールアドレス medicafe1011@gmail.com ホームページ https://nagomi-cafe-niijima.jimdofree.com/		
会 員 数	25名	会 費 等	入会金：なし（自由参加）

主な活動内容

- がん患者さん、ご家族、ご遺族、学生、医療者などが集まり対話の場を提供しています。（お茶を飲みながら、和やかな雰囲気の中でカフェを開催しています。お気軽にご参加ください。）
- 個人相談を受け付けています。

会員からのメッセージ

「がん哲学外来」（提唱者：樋野興夫先生）の言葉の処方箋に励まされながら、皆さんと楽しくカフェをしています。帰るときにはなぜか心がほっこりする集まりで、楽しみに皆さんが集まってくださいます。どなたでも参加できますので、是非お越しください。

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

会 名 称	一般社団法人がん哲学外来認定カフェ ひだまりカフェ in おうら		
対 象 疾 患 等	がん全般（患者・家族・友人・支援者）		
サロン開催場所・日程	明言寺 石打こぶ観音（和室） 毎月第3土曜日 14:00～15:30		
問い合わせ先	松崎 淑子 TEL：090-2677-0296 メールアドレス hidamari.gunma63@cd5.so-net.ne.jp		
会 員 数	スタッフ 7名	会 費 等	お茶代：200円
主な活動内容 ひだまりカフェは『寄り添い・見守り・分かち合う 心のつながりを大切にする憩いの場』を理念に、がん患者さんやその家族、がんに関心を持つ方が集まりゆったりとした雰囲気の中でお互いの体験や思いなど内なる気持ちを安心して言葉に出来る場所。 「解決はできなくても、解消はできる」帰る時には、心が少しほっこりするカフェです。			
会員からのメッセージ カフェのボランティアスタッフには、看護師や管理栄養士等の医療職、行政に関わる方もおり、色々な情報やお話も聞くことができます。その中で、一緒に自分らしい生き方を考えてみませんか？きっと、あなたに必要な「生きるヒント」をもらえる場所になると思います。			

会 の 名 称	つながるん場			
対 象 疾 患 等	がん全般			
サロン開催場所・日程	開催場所：高崎市総合福祉センター 開催日時：毎月第4日曜日 13:30～ ※日程など変更となる場合があります。ブログで確認してください。			
問い合わせ先	代表 松井 葉子 TEL：090-3470-5783 / 090-3573-0593 メールアドレス tsunagarunba@gmail.com ブログ https://ameblo.jp/tunagarunba			
会 員 数	10名	会 費 等	なし	
主な活動内容 群馬県がんピアサポーター研修を受講したスタッフが、がん患者等のお話を聴かせていただきます。がん患者とその家族の辛さや不安な気持ち（生活、治療費、仕事など）に寄り添います。参加費は0円です。参加したいと思った時にご参加ください。 ※出張サロン募集中：あなたの地域でがんサロン開きませんか？私たちが訪問させていただきます。				
会員からのメッセージ 「私のがんになるなんて」「これからどうなるのだろう」「私の体が自分の体じゃないみたい…」 皆さんが思うことです。このような気持ちを分かち合いましょう。この会がみなさんにとって『つながりの場』になれば幸いです。きっと、笑顔で帰れますよ。				

※中止・変更となる場合がありますので、事前に活動状況をご確認の上、ご利用をお願いします。

がんピアサポーターからのメッセージ③ 心が軽く ～サロンでの仲間との出会い～

群馬県がんピアサポーター 安部 文子

私は2018年4月に、乳がんの手術を受けました。

最初の診断からいくつかの検査を経て、2か月後にステージが確定しました。勤務時間を調整しながら5週間の放射線治療に通い、今はホルモン治療をしながら仕事を続けています。

術後1年目のマンモグラフィ検査を受ける時は、「再発していたらどうしよう」という不安でいっぱいでした。いえ、その時だけでなく、常に不安でいっぱいな毎日を送っていました。

そんな中私が、自分以外のがんになられた方とお話する機会を得たのは、手術から1年経ってからのことでした。

早期発見のため定期検診の重要性が呼びかけられて久しく、早く見つかって治療を始めることができている方も増えています。でも、いくら早く見つかったても、「がんになった」ことに対する不安がどれだけのことか、自身になるまでは量り知れなかった。それを分かち合えたのが、サロンで出会った“仲間”でした。

「迷ったらGO」。尊敬するサロンの先輩がいつもおっしゃっている言葉です。仲間だから、「今を見つめる大切さ」がわかりあえる。

サロンをきっかけに、たくさんの“仲間”に出会うことができました。いつのまにか「先の不安ばかりを抱えて過ごしていても意味がない」と心から思えるようになっていた自分を、そこにを見つけました。

ひとりで抱え込まなくていいんです。サロンに遊びに行ってみませんか。

ここには今を大切に生きている、あなたのたくさんの仲間たちが待っています。

HPのご案内

●『がん情報サービス』（国立がん研究センター）

正しい情報を探す

がんの症状や検査、治療法のほか、療養中に使える制度、お金のことなど、幅広い情報をお届けしています。

がん情報サービス

検索



相談先を探す

全国の「がん相談支援センター」から

- ・地域
- ・病院の種類
- ・対応可能な診療と特徴
- ・専門医療職

▼がん相談支援センターとは



▼がん相談支援センターを探す



などの条件からあなたに合った「相談先」を探せます(群馬県がん相談支援センターは14ページ)。

●『群馬県のがん対策』（群馬県庁）

群馬県内のがん診療連携拠点病院や診療連携推進病院、助成事業相談支援センターに関する情報を掲示しています。

(<https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/>)



冊子のご案内

●『患者必携 がんになったら手に入るガイド 普及新版』以下の2つの冊子で構成されます。



【がんになったら手に入るガイド】

- ・がん治療のこと
 - ・経済的負担と支援
 - ・療養生活のためのヒント
- などの必要情報を提供します。



【別冊 わたしの療養手帳】

- ・がんの診断
 - ・入院、治療
 - ・療養生活
- について書き込むための冊子
「自分なりの病気に対する態度」を決めるお手伝いとなります。

「がん情報サービス」からPDFファイル入手できます。

その他、がん相談支援センターで見本版を読む・電子書籍版・書店・出版元から購入することもできます。



編著：国立がん研究センター
がん対策情報センター
発行：学研メディカル秀潤社

第6章 小児・AYA世代のがん



kohamoe12

草津町
@kohamoe12

12 小児およびAYA世代のがん

群馬県立小児医療センター 副院長 河崎 裕英

小児およびAYA世代のがんとは

小児がんは0歳から19歳までに発生する悪性腫瘍（以降「がん」と表します）、AYA世代のがんは15歳から39歳までのがんを指すことが多いですが、ただ単に年齢の違いだけで分けているわけではありません。これらの世代のがんは特徴的な性質を持っています。小児がん・AYA世代のがんには、成人、高齢者に多い大腸癌や乳癌などは極めて稀で、小児がんでは急性白血病、リンパ腫などの血液腫瘍、神経芽腫、腎芽腫などの未熟な細胞を起源とするがんが多く、AYA世代がんでは、胚細胞性腫瘍などの性腺起源のがん、骨肉腫などの肉腫、甲状腺がんなどが多い特徴があります。頻度は小児がんでは小児1万人あたり1-1.5人とされ、我が国では年間2500人程度の患者さんが新たに診断されています。原因は、多くは不明ですが、一部のがんでは生まれつきがん抑制遺伝子（がんのブレーキ役となる遺伝子）の異常があることが見つかっています。そのため小児・AYA世代のがんと診断された場合、がんゲノム診断を受けることが治療やフォローアップに重要となる場合があります。

小児およびAYA世代のがんの治療

多くのがんでは抗がん剤を用いた化学療法が主となります。それに加えて腫瘍を伴うがんでは外科手術や放射線治療を組み合わせた集学的治療が行われます。また最近では免疫療法や分子標的薬を組み合わせることも積極的に行われています。これらの集学的治療を適切に行うことで治療成績（生存率）は年々良くなってきており、たとえば小児で最も多い急性リンパ性白血病（標準リスク）の5年生存率は95%以上であり、適切に治療を行えば、十分に完治する希望が持てるがんになってきています。多くのがんでは、それぞれのがんに現時点で最も有効な治療法がわかってきており、日本全国で治療法（治療プロトコールと呼びます）を統一して行うことで、さらなる治療成績の向上と均てん化がはかられています。また、全国に15の小児がん拠点病院とその拠点病院と密接に連携して治療を行う小児がん連携病院が認定され、それらの施設でそれぞれの患者さんにとって最も有効な治療法や治療戦略を共有し時に協力して治療が行なわれています。

小児およびAYA世代のがんの問題点

治療成績が向上する一方で、治療中、治療後の問題点も出てきています。治療中の問題では治療期間が長いことが挙げられます。予後の比較的良好な急性リンパ性白血病でも、半年以上の入院化学療法と1年半に及ぶ外来治療が必要であり、他のがんでは1年以上の入院治療が必要なものもあります。また、治療中は骨髄抑制があり感染の危険性が高いことから、患者さんや家族の日常生活は大きく制限されているのが現状です。それに対し、多くの小児がん治療施設では、院内学級やプレイルーム、家族用の宿泊施設などの設備を充実させて、また治療の合間で外泊や一時退院を組み込み、児と家族のストレスを少しでも軽減する努力が行われています。

治療後の問題では、治療終了後におこる晩期合併症が問題になります。小児がんそのものによるものに加え、治療で用いた抗がん剤や放射線によって治療後にさまざまな身体的異常がもたらされる可能性があります。しかもそれは治療後5年、10年経っておこるものもあります。具体的には、身体的な成長の遅れ（身長が伸びない）や二次成長の遅れ（初潮がこない）、不妊や各臓器の機能の低下まで多岐にわたるものがあり、小児科だけではなく、婦人科や整形外科、眼科、耳鼻科、歯科など各臓器の専門の科とも密接に協力し経過観察、治療が行なわれる必要があります。また、AYA世代の患者さんでは、就学や就職、結婚、出産などに関しても社会面、精神面を含め十分にサポートしていくことが必要になります。

小児がんサバイバーについて

小児がんやAYA世代のがんを経験し治療している患者さんを「小児がんサバイバー」と呼びますが、治療成績の向上につれ年々増加し、現在では、20歳代の700人に1人は小児がんサバイバーであると推定されています。小児がんサバイバーにおける問題点は、先に述べた晩期合併症ももちろんですが、社会面の問題に対しては、社会全体に小児がんサバイバーに対する啓発を行い理解を広め深めていくことが重要になります。

AYA : Adolescent and Young Adult

群馬県がんピアサポーター 浦辺 美和

「お子さんは小児がんの可能性ががあります」そう告げられてから18年が経ちます。あの日の衝撃は今思い返しても苦しいほどです。当時息子は7歳。何かの間違いではと願いましたが精密検査の結果は間違いどころか非常に厳しい状況であり時間が無いかも知れないと言われ目の前が真っ暗になりました。当時の自分を振り返ると非常に情けない親でした。しかし病棟での生活が1週間程続いた頃、気持ちに変化が現れます。「辛いのはウチだけじゃない、時間が無いなら無駄にしていけない」と思い直しました。その後は周りに目を向けることができ、小児病棟に関わる方々の存在を知り、感謝の気持ちが芽生えました。院内学級が患児にとっていかに大切な存在なのかも知りました。親とも医療者とも異なる先生方は、治療の辛さを束の間でも忘れさせてくれる存在なのだと気付きました。「院内学級が楽しい」そう言った息子の笑顔が思い出されます。「この笑顔の為に前を向こう」と心に誓い、支援センターも活用しました。病棟では母親同士の交流に心が和みました。その後一縷の望みを懸け都内での手術を薦めて頂き転院することになりました。転院先では親の会の活動や、きょうだい児への支援が充実しており感銘を受けました。病棟内に立ち入れず待合室で待つ幼いきょうだい児の心も重視する事は親の心の安定にも繋がり、結果的に患児の笑顔にも繋がります。更に院内学級も素晴らしい空間でした。小中高等部が同じ教室で学び、幼い子は上級生を見て憧れ、上級生は自分よりも小さな子が明るく治療を受けている姿に刺激を受けます。がん専門病院の為、血球減少の期間でも気にせず登校でき、子供たちにとって気晴らしができる場は重要でした。軽音部の活動もあり、息子はギターの練習に夢中になりました。目標が出来、中3の時には受験を頑張りたいと言いました。高校入学が決まり「私は世界一幸せな中学生だ。皆さんありがとう」と感謝の気持ちを作文に記しています。その後も治療は続き、双方の先生方の計らいで院内学級での学習時間を県立高校の出席として認めていただき本当に感謝しています。高校卒業まで病魔は待ってくれませんでした。今の私が在るのは多くの方々との絆のおかげです。病気は辛い記憶ですが出会いは幸運でした。現在、人との交流が制限される中で治療を続ける皆さんのことを想うと胸が痛みます。まずは保護者の方々が「話を聴いてほしい、気持ちを受け止めてほしい」そう言える環境があることを心から願います。

子宮卵巣がん患者会みゅらりっづ、群馬県がんピアサポーター 三武 美紀

「おめでとうございます。かわいい女の子ですよ！」と出産した、わずか2か月後のことでした。私は、10万人に1人が罹患すると言われている『絨毛癌』になりました。

すぐに抗がん剤を受ける予定が、発熱と出血多量のため手術で子宮と卵巣を摘出することとなりました。慌ただしく物事が進み、目の前のことを行うのに精一杯になりました。

そんなある朝、次の子どものために丁寧に新生児の服を畳んでしまったことや、繰り返し使える沐浴バスを購入したことをふと思い出しました。思い描いていたあの子は、もうこの世に産まれてくることはないのだということを改めて感じました。がんの治療をするために、子宮や卵巣を取る必要性は十分に理解しているつもりでしたが、気持ちは追いついておらず、涙が止まらなくなりました。同時期に治療をして妊孕性を失った他の患者さん達は、「自分で産むことはできないけど、海外に行っても夫の子どもが欲しい」「里親や養子を考えている」と様々な思いを抱えていました。

その後、合計18クルールの抗がん剤治療を受けて、入院は9か月間に及びました。重い副作用と連日の悪夢に悩まされ、「毎日毎日、どうして自分ばかりがこんなに辛いのだろう」と、やりきれない思いでいっぱいでした。しかしある時、実は家族も耐えながら頑張ってくれていたことにハッと気づかされました。上の子どもは、私の発病当時を振り返って「みんな忙しそうで自分が何をしたら良いかと思っていた。寂しかったけど、みんなが声を掛けてくれた。がんは誰でもなる可能性がある。病気の人は大変だからみんなで手伝えるといい」と言っていました。子どもは大人が思っているよりも周囲から様々なことを学び、一生懸命に家族としての役割を果たそうとしてくれます。

これを読んでくださっているみなさんにお伝えしたいことがあります。

現在、がん患者等の妊孕性温存療法やそのための補助金の体制整備が進められています。治療前に妊孕性温存のための適切な情報の提供を受け、家族とも十分に話し合いを行った上で「その方の思いが尊重される」、そんな支援体制がより整備されようとしています。

また、2020年から学校での「がん教育」が始まっています。がんになる前、なった後に子どもも家族の一員としてがんについて話し合えること、周囲の人達のがんに対する理解や支援体制が充実していくことを願います。

13 小児・AYA世代向けがんサロンの紹介

会 名 称	一般社団法人がん哲学外来認定カフェG-AYA (通称：じーあや)			
対 象 疾 患 等	全種の患者 (15～39歳)、その周辺サポーター (家族、友人、支援者)			
サロン開催場所・日程	群馬大学医学部附属病院アメニティモール カンファレンスルーム第3(ローソンの上) ※変更あり。 偶数月の第四金曜日18時から19時30分			
問い合わせ先	慶原 凌太 TEL：080-8011-6707 メールアドレス ryovulnerability@gmail.com ホームページ https://g-aya.jimdosite.com			
会 員 数	10名程度	会 費 等	なし	

主な活動内容

本人とその家族を「独りぼっちにしない」をモットーに、同じような経験をもつ人とのつながりや、話し合える場を提供しています。若者世代ならではの悩みや困り事について、またその頑張りについて語り合います。

会員からのメッセージ

がんに関わる AYA 世代や、そのサポーターに向け、がん哲学外来の教えをもとにあたたかな雰囲気での対話の場を提供しています。あなたと同じように悩む、頑張る人達と出会い、新たな発見をしてみませんか。

主な活動内容

本人とその家族を「独りぼっちにしない」をモットーに、同じような経験をもつ人とのつながりや、話し合える場を提供しています。若者世代ならではの悩みや困り事について、またその頑張りについて語り合います。

会員からのメッセージ

がんに関わる AYA 世代や、そのサポーターに向け、がん哲学外来の教えをもとにあたたかな雰囲気での対話の場を提供しています。あなたと同じように悩む、頑張る人達と出会い、新たな発見をしてみませんか。

※中止・変更となる場合がありますので、事前にご確認の上、ご利用をお願いします。

参考情報

桐生大学医療保健学部看護学科 松沼 晶子

一緒にサポートします。「お父さん、お母さん、お子さんががんのことをどのように伝えていきますか。」

悩んでいる方のために、がんのことを大切なお子さんへ伝えやすくする絵本をご紹介します。
是非、お子さんにこの絵本と共にご自身の気持ちを伝えてみましょう。きっとお子さんがお父さん、お母さんの気持ちを温めてくれることでしょう。お子さんはあなたのことが大好きで大好きで一番の味方です。



「ある日、お父さんお母さんががんになってしまったら」

作：Ann Couldrick 訳：阿部まゆみ

「ずーっとずっとだいすきだよ」

作・絵：ハンス・ウィルヘルム 訳：久山 太市
発行：評論社

「おかあさんだいじょうぶ?」

作：乳がんの親とその子どものためのプロジェクト 絵：黒井 健 発行：小学館

「きみのそばにいるよ」

作：いぬい さえこ 発行：パイ インターナショナル

「ママ、なんで? びょうきのママにききたいの」

作：阿部 円香 絵：さとみ 発行：書肆侃僞房



Hope Tree (ホープツリー) <https://hope-tree.jp/>

パパやママががんになったら～Hope Tree～は、がんになった親を持つ子どもをサポートするためのさまざまな情報やプログラムを提供しています。

14 群馬県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法等助成事業のご案内

群馬県では、将来子どもを産み育てることを望む小児・AYA世代のがん患者等が希望をもってがん治療等に取り組めるように、将来子どもを授かる可能性を温存するための妊孕性温存療法等に要する費用の一部を助成する事業を実施しています。

また、妊孕性温存療法等の有効性・安全性のエビデンス創出や長期にわたる検体保存のガイドライン作成などの妊孕性温存療法等の研究を促進しています。

申請書等は、群馬県ホームページからダウンロードできます。

群馬県小児・AYA

Q 検索



1 助成対象となる方（次の要件をすべて満たす方が対象となります）

- ・対象となる治療の凍結保存時に43歳未満の方。
- ・申請時に群馬県内に住所を有する方。
- ・指定医療機関の生殖医療専門医と原疾患担当医が、妊孕性温存療法に伴う影響について評価を行い、生命予後に与える影響が許容されると認められる方。
- ・胚（受精卵）凍結に係る治療の場合は、原則、治療開始時点で法律婚の関係にある夫婦のうち、女性が妊孕性温存療法対象者である場合を対象とするが、生まれてくる子の福祉に配慮しながら、事実婚（婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある場合）の関係にある方も対象です。
※原疾患の治療前を基本としますが、治療中及び治療後であっても医学的な必要性がある場合には対象とします。
※子宮摘出が必要な場合など、本人が妊娠できないことが想定される場合は対象となりません。
- ・対象となる原疾患の治療内容については、以下のいずれかです。
 - ①「小児・思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン」（日本癌治療学会）の妊孕性低下リスク分類に示された治療のうち、高・中間・低リスクの治療
 - ②長期間の治療によって卵巣予備能の低下が想定されるがん疾患：乳がん（ホルモン療法）等
 - ③造血幹細胞移植が実施される非がん疾患：再生不良性貧血、遺伝性骨髄不全症候群（ファンコニ貧血等）、原発性免疫不全症候群、先天代謝異常症、サラセミア、鎌状赤血球症、慢性活動性EBウイルス感染症等
 - ④アルキル化剤が投与される非がん疾患：全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、多発性筋炎・皮膚筋炎、ベーチェット病等
- ・指定医療機関から、妊孕性温存療法を受けること及び研究への臨床情報等を提供することについて説明を行った上で、本事業に参加することについて同意する方。対象者が未成年患者の場合は、できる限り本人も説明を受けた上で、親権者または未成年後見人が同意する方。

2 助成対象となる治療（費用）・助成額

- ・助成対象となる費用は、妊孕性温存療法に要する費用のうち、精子、卵子、卵巣組織の採取及び凍結並びに胚（受精卵）の凍結に係る妊孕性温存療法及び初回の凍結保存に要した医療保険適用外の費用です。ただし、入院室料（差額ベッド代等）、食事療養費、文書料等の治療に直接関係のない費用及び初回の凍結保存費用を除く凍結保存の維持に係る費用は対象外です。
例）・精子、卵子、卵巣組織の採取に要した費用（検査や排卵誘発剤などを含む）
・胚（受精卵）を凍結保存する場合の受精に要した費用（受精料、培養料など）
・凍結保存に要した費用（凍結処置料、初回の凍結保存料など（更新料は含まない）
- ・助成額及び助成上限額治療毎の1回あたりの助成上限額
 - ①胚（受精卵）凍結に係る治療 35万円
 - ②未受精卵凍結に係る治療 20万円
 - ③卵巣組織凍結に係る治療（組織の再移植を含む） 40万円
 - ④精子凍結に係る治療 2万5千円
 - ⑤精巣内精子採取術による精子凍結に係る治療 35万円
- ・対象となる治療を受けたが、やむを得ない理由により正常に行えなかった場合や、体調不良等によりその後の妊孕性温存療法を中止した場合も助成の対象とします。

3 助成回数

助成回数は、対象者一人に対して通算2回までです。異なる治療を受けた場合であっても通算2回までとします。

・令和3年4月1日以降に、他の都道府県で実施する同様の助成を受けた場合は、通算回数に含めます。

・本事業の対象となる費用について、「不妊に悩む方への特定治療支援事業」に基づく助成を受けている場合は、本事業の助成の対象外とします。

※胚（受精卵）凍結および未受精卵凍結は、1回の採卵周期に行った治療を1回とします。

※卵巣組織凍結および再移植は、1回の手術を1回とします。

※精子凍結は、1回の採精手技を1回とします。

※精巣内精子採取術については、1回の手術を1回とします。

なお、異なる治療を受けた場合であっても、その治療が一連のものである場合は1回とし、助成上限額の高い治療分の助成を行います。

（例1）胚（受精卵）凍結に係る1回の採卵周期に行った治療で、一部を胚（受精卵）凍結、一部を受精させずに未受精卵凍結した場合には、1回の治療とみなし、助成上限額としては35万円とします。

（例2）卵巣組織を採取する1回の手術治療で、一部の未受精卵を採取して、卵巣組織および未受精卵子（又は胚（受精卵））の両者を凍結した場合には、1回の治療とみなし、助成上限額としては40万円とします。

4 申請に必要な書類

（申請書等は、群馬県ホームページからダウンロードできます。）

☐ 申請書、証明書 ☐ 証明書部分の領収書

☐ 住民票（個人番号の記載がなく、発行から3か月以内のもの）

※妊孕性温存療法を受けた方が未婚で未成年の場合は、申請者は親権者又は未成年後見人としてください。この場合、両者の関係が確認できる書類を添付してください。（例：両者及び続柄が記載された住民票、未成年後見人を証明する書類の写し等）

◎胚凍結の場合：夫婦であることを証明できる書類

☐ 両人の戸籍謄本① ☐ 両人の住民票②（続柄の記載があり、個人番号の記載がないもの）

【事実婚の場合】①、②+ ☐ 事実婚関係に関する申立書

☐ 助成金の振り込みを希望する申請者名義の金融機関の通帳等カナ名義及び口座番号がわかるもの（写し）

5 申請方法・申請期限

申請書及び添付書類を、妊孕性温存療法に係る費用の支払日の属する年度内に、次の宛先に郵送してください。ただし、妊孕性温存療法実施後、期間を置かずに原疾患治療を開始する必要があるなどのやむを得ない事情により、年度内に申請が困難な場合は、翌年度に申請することができますので、あらかじめ電話でご連絡ください。

【電話027-226-2614】

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県健康長寿社会づくり推進課 がん対策推進係

※配達記録が残るレターパック、簡易書留などの利用をお勧めします。

※普通郵便等、配達記録の残らない郵便物の不着事故などに関しては責任を負いかねます。

※領収書原本を返却するため、申請時に返信用レターパック（宛先記入）を必ず同封してください。

6 県内指定医療機関

医療機関名	所在地	電話番号
群馬大学医学部附属病院	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111
群馬中央病院	前橋市紅雲町1-7-13	027-221-8165
横田マタニティーホスピタル	前橋市下小出町1-5-22	027-219-4103
高崎アートクリニック	高崎市あら町136-1	027-310-7701
セキールレディースクリニック	高崎市栄町17-23	027-330-2200

温存後生殖補助医療の
助成手続きは
群馬県ホームページを
ご覧ください

<https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/2731.html>



問い合わせ先

群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課がん対策推進係

電話：027-226-2614（直通）

群馬県のがん対策に協力する企業等

群馬県では、企業・団体等と協力して、がん対策の重要性等を普及啓発するため、「群馬県がん対策連携企業」登録制度を実施し、随時募集しています。

詳しい内容は、県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.gunma.jp/site/gantaisaku/2599.html>



がん検診受診率向上や、がんに関連した従業員の支援に取り組む企業

がん検診受診率向上分野	がん患者就労支援分野
- 健康診断にがん検診を取り入れる。 - 従業員等に対するがん検診の受診勧奨等を行う。 - 企業が有する顧客網や、ネットワークを活用し、がん予防・がん検診の普及啓発に取り組んでいる。 など・・・	- 従業員等ががんになったときに、短時間勤務制度や通院のための時間単位の休暇制度など、治療と仕事の両立をしやすいよう社内環境の整備を進めている。 - 就労支援に関するセミナー等に参加したことのある役員・従業員がいる。 など・・・

※両方の分野でも、いずれか1つのみでも登録できます。

群馬県がん対策連携企業登録企業 (R7.3.1時点)

がん検診受診率向上

【推進企業：8企業】

- 群馬ヤクルト販売(株) ●大塚製薬(株)高崎出張所 ●中外製薬(株)関東北・甲信越統括支店
- (株)ジーシーシー ●華光HANAHIKARI ●(公財)群馬県健康づくり財団
- 柴山流通管理(株) ●武田薬品工業(株)北関東エリア

【宣言企業：38企業】

- (一財)日本健康管理協会北関東支部 ●(一社)伊勢崎佐波医師会病院成人検診センター
- 産科婦人科館出張佐藤病院 ●原町赤十字病院 ●(医)パテラ会 ●(医)石井会石井病院
- (医)美心会 ●桐生信用金庫 ●ぐんまみらい信用組合 ●(株)群馬銀行 ●ヤマキ(株)群馬事業所
- (株)ヤマダホームズ ●協和キリン(株)北関東支店 ●(株)中島自動車電装 ●(株)クスリのマルエ
- SOMPOひまわり生命保険(株)群馬支社 ●(株)小池ケアサービス
- アクサ生命保険(株)群馬支社 ●第一生命保険(株)群馬支社 ●第一生命保険(株)太田支社
- 三井住友海上あいおい生命保険(株) ●日本生命保険相互会社群馬支社 ●日本生命保険相互会社太田支社
- (一社)生命保険協会 群馬県協会 ●マンモグラフィトレーニングスクール ●赤尾商事(株)
- 会津喜多方一めん新田 ●TSPネット群馬 ●温泉宿 塚越屋七兵衛・香雲館
- ブランケット行政書士事務所 ●(株)保険ステーション 藤岡事業所 ●ソニー生命保険(株)
- アフラック生命保険(株)群馬提携支社 ●(福)マгноリアニセン ●vert eye lash ●桂建設 (株)
- 日本ベーリンガーインゲルハイム (株) ●アウヴィ (同)

がん患者就労支援

【推進企業：3企業】

- 中外製薬(株)関東北・甲信越統括支店 ●(医)パテラ会 ●(公財)群馬県健康づくり財団

【宣言企業：14企業】

- 原町赤十字病院 ●(株)ジーシーシー ●(株)群馬銀行 ●協和キリン(株)北関東支店
- 日本生命保険相互会社群馬支社 ●日本生命保険相互会社太田支社
- 第一生命保険(株)群馬支社 ●太陽誘電(株) ●ブランケット行政書士事務所 ●(医)美心会
- 温泉宿 塚越屋七兵衛・香雲館 ●第一生命保険(株)太田支社
- 田辺三菱製薬(株)群馬第一営業所 ●(株)栗原医療器械店

※推進企業：宣言企業の登録から1年以上経過し、一定の要件を満たす企業として別に登録します。

サバイバース
ウォーク

リレー
ウォーク

がん征圧・がん患者支援 チャリティウォークイベント

リレー・フォー・ライフ・ジャパン
2025 ぐんま 13th

START FINISH
10/11 土 14:00 ▶ 12 日 10:00

会場 ALSOK ぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンド
(前橋市関根町 800) / 雨天決行 (荒天の場合は中止の可能性あります)

リレー・フォー・ライフは、がんに立ち向かう方々の勇気を讃え、がん患者や家族、友人、支援者と共に地域一丸となってがん征圧を目指すチャリティ活動として、現在世界2460か所、日本では約50か所で開催されています。ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというイベントは、どなたでもご参加いただけます。あなたもぜひ、参加してみませんか。

キッチン
カー

ステージ
イベント

ルミ
ナリエ

ドクター
講座

エンブレ
テーブル

主 催 (公財)日本対がん協会/リレー・フォー・ライフ・ジャパン ぐんま実行委員会

共 催 群馬県/(公社)群馬県医師会/(公社)群馬県歯科医師会/(一社)群馬県薬剤師会
(公社)群馬県看護協会/群馬県がん患者団体連絡協議会/(公財)群馬県健康づくり財団

後 援 厚生労働省等

リレー・フォー・ライフ
お問合せ先

公益財団法人 群馬県健康づくり財団 総務部 企画広報課
TEL : 027-269-7820・7403 E-mail : kikaku@gunma-hf.jp



サポートブックのお問い合わせ：群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課
TEL 027-226-2614